

情報ビジネス学科（3年課程）

第 1 学 年						
科目区分	科目整理番号	授業科目	授業形態	必選の別	単位数	実務教員科目
一般科目	001	社会人基礎Ⅰ	講義	必修	3	
	002	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	3	
	003	社会人基礎Ⅲ	講義	選必	3	
専門科目	004	複式簿記の原理	講義	選必	3	
	005	株式会社会計	講義	選必	2	
	006	株式会社会計演習Ⅰ	演習	選必	2	
	007	株式会社会計演習Ⅱ	演習	選必	2	
	008	中小企業会計Ⅰ	講義	選必	3	
	009	中小企業会計Ⅱ	講義	選必	2	
	010	中小企業会計演習Ⅰ	演習	選必	2	
	011	中小企業会計演習Ⅱ	演習	選必	2	
	012	公開企業会計Ⅰ	講義	選必	4	
	013	公開企業会計Ⅱ	講義	選必	4	
	014	公開企業会計演習Ⅰ	演習	選必	3	
	015	公開企業会計演習Ⅱ	演習	選必	2	
	016	商業簿記上級	講義	選必	3	
	017	原価計算上級	講義	選必	3	
	018	日商簿記1級Ⅰ	講義	選必	3	
	019	日商簿記1級Ⅱ	講義	選必	3	
	020	日商簿記1級Ⅲ	講義	選必	4	
	021	日商簿記1級演習Ⅰ	演習	選必	2	
	022	日商簿記1級演習Ⅱ	演習	選必	2	
	023	日商簿記1級演習Ⅲ	演習	選必	2	
	024	日商簿記1級演習Ⅳ	演習	選必	2	
	025	日商簿記2級Ⅰ	講義	選必	3	
	026	日商簿記2級Ⅱ	講義	選必	3	
	027	日商簿記2級Ⅲ	講義	選必	3	
	028	日商簿記2級演習Ⅰ	演習	選必	2	
	029	日商簿記2級演習Ⅱ	演習	選必	2	
	030	日商簿記2級演習Ⅲ	演習	選必	2	
	031	日商簿記2級演習Ⅳ	演習	選必	1	

032	ファイナンシャル・プランニングⅠ	講義	選必	2	
033	ファイナンシャル・プランニングⅡ	講義	選必	2	
034	ファイナンシャル・プランニング演習	演習	選必	2	
035	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	講義	選必	2	
036	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	講義	選必	2	
037	ファイナンシャル・プランニング応用演習	演習	選必	2	
038	経理実務	講義	選必	6	
039	経理実務演習	演習	選必	2	
040	宅地建物取引士入門	講義	選必	2	
041	宅地建物取引士Ⅰ	講義	選必	2	
042	宅地建物取引士Ⅱ	講義	選必	2	
043	宅地建物取引士Ⅲ	講義	選必	2	
044	宅地建物取引士Ⅳ	講義	選必	2	
045	文書処理技能	講義	選必	2	○
046	プレゼンテーション技能	講義	選必	2	○
047	マーケティング基礎	講義	選必	4	
048	リテールマーケティング基礎Ⅰ	講義	選必	2	○
049	リテールマーケティング基礎Ⅱ	講義	選必	2	○
050	リテールマーケティング基礎演習	演習	選必	2	○
051	リテールマーケティング応用Ⅰ	講義	選必	2	○
052	リテールマーケティング応用Ⅱ	講義	選必	2	○
053	リテールマーケティング応用演習	演習	選必	2	○
054	税務会計	講義	選必	4	
055	社会人総合実習Ⅳ	演習	選必	4	○
056	プログラミング基礎Ⅰ	演習	選必	1	
057	プログラミング応用Ⅰ	演習	選必	3	
058	アプリケーション開発基礎Ⅰ	演習	選必	2	
059	アプリケーション開発応用Ⅰ	演習	選必	2	
060	コンピュータリテラシ	演習	選必	1	○
061	コンピュータリテラシ（表計算）	演習	選必	2	○
062	コンピュータリテラシ（文書処理）	演習	選必	2	○
063	コンピュータリテラシ（プレゼン）	演習	選必	1	○
064	コンピュータリテラシ（データベース）	演習	選必	1	○
065	システム開発基礎Ⅰ	演習	選必	2	○

066	システム開発応用 I	演習	選必	2	○
067	情報処理テクノロジー基礎	講義	選必	1	
068	情報処理マネジメント基礎	講義	選必	1	
069	情報処理ストラテジ基礎	講義	選必	1	
070	情報処理基礎演習	演習	選必	1	
071	情報処理テクノロジー応用 I	演習	選必	1	
072	情報処理マネジメント応用 I	演習	選必	1	
073	情報処理ストラテジ応用 I	演習	選必	1	
074	情報処理応用演習 I	演習	選必	1	
075	アルゴリズム基礎	講義	選必	1	
076	アルゴリズム応用	演習	選必	1	
077	情報セキュリティ基礎	講義	選必	1	
078	情報セキュリティ応用	講義	選必	1	
079	ネットワーク基礎	講義	選必	1	
080	ネットワーク応用	講義	選必	1	
081	システムアーキテクチャ I	演習	選必	1	
082	情報処理入門テクノロジー	講義	選必	1	
083	情報処理入門マネジメント	講義	選必	1	
084	情報処理入門ストラテジ	講義	選必	1	
085	情報処理入門演習	演習	選必	1	
086	消費税法税務会計	講義	選必	3	○
087	簿記論 I	講義	選必	4	
088	財務諸表論 I	講義	選必	4	
089	簿記論演習 I	演習	選必	3	
090	財務諸表論演習 I	演習	選必	3	
091	財務会計上級	講義	選必	3	
092	管理会計上級	講義	選必	3	
093	Excel表計算技能	講義	選択	1	○
094	簿記速修	講義	選択	4	
095	F P 技能士 3 級	講義	選択	2	
096	F P 技能士 3 級演習	演習	選択	1	
097	コンピュータ会計	演習	選択	2	

1学年合計授業時間数・取得単位数

31

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	必修
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、鈴木 裕治、 竹村 幸生	授業回数	37回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び計算処理能力を身につけることを目的とし、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験および日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。</p> <p>また、様々な視点から自己分析を行い自分に向いている業種、職業等の分析・確認を行う。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）① 【計算処理能力】 電卓基礎知識（各部の名称や機能）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生	
第2回	【一般教養】 漢字（訓読み送り仮名編）② 【計算処理能力】 電卓（加減算の基本及び操作方法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生	

第3回	<p>【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③</p> <p>【計算処理能力】電卓（見取算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第4回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）①</p> <p>【計算処理能力】電卓（乗算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第5回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）②</p> <p>【計算処理能力】電卓（除算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第6回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）③</p> <p>【計算処理能力】電卓（伝票算の基本及び操作方法）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第7回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）④</p> <p>【計算処理能力】電卓（見取算構成比率の考え方及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第8回	<p>【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）①</p> <p>【計算処理能力】電卓（乗算構成比率の考え方及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第9回	<p>【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）②</p> <p>【計算処理能力】電卓（除算構成比率の考え方及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第10回	<p>【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③</p> <p>【計算処理能力】電卓（伝票算構成比率の考え方及び求め方）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第11回	<p>【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④</p> <p>【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第12回	<p>【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）①</p> <p>【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第13回	<p>【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②</p> <p>【計算処理能力】電卓（電卓速度向上レクチャー）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第14回	<p>【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③</p> <p>【計算処理能力】電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第15回	<p>【一般教養】漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④</p> <p>【計算処理能力】電卓（キータッチ正確性向上レクチャー）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第16回	<p>【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（訓読み送り仮名編）</p> <p>【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第17回	<p>【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（熟語編）</p> <p>【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第18回	<p>【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題（熟語編）</p> <p>【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第19回	<p>【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題 （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）</p> <p>【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第20回	<p>【一般教養】漢字能力検定試験項目別問題 （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編）</p> <p>【計算処理能力】電卓技能検定試験対策問題⑤</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第21回	自己分析①（高校時代の自分を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第22回	自己分析②（周りから見た自分の印象を知る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第23回	自己分析③（自分の長所・短所を考える）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第24回	自己分析④（学生時代打ち込んだこと ～学業面～）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第25回	自己分析⑤（学生時代打ち込んだこと ～学業面以外～）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験第1回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第27回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験第2回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験第3回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験第4回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験第5回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第31回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第32回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第33回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第34回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第35回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第36回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑥	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第37回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑦	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
準備学習等	予習や課題については適宜講義中に指示する。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>漢字能力検定試験対策問題集2級・3級（学校法人 大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験 第1回～第5回（学校法人 大原学園） 電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級問題（大原出版） ※受験級に合わせて各自購入 電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） ※受験級に合わせて各自購入 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>
<p>備考</p>	<p>初回のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 社会人基礎Ⅰは、各学科の必修科目であるため、各学科各学年合同授業となる。 また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、鈴木 裕治、 竹村 幸生	授業回数	37回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	一般社会常識及び仕事に必要な知識やビジネスマナーを学び、人間関係を良好に保つために必要なコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。また、社会人基礎Ⅰに引き続き、ビジネスの場で即戦力となる一般教養及び集計能力を高めるため、全国経理教育協会主催社会人常識マナー検定試験、日本ビジネス技能検定協会主催漢字能力検定試験及び日本電卓技能検定協会主催各種段位級取得を到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 【社会人常識マナー】社会と組織 【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生	
第2回	【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）② 【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生	

第3回	<p>【社会人常識マナー】仕事と成果</p> <p>【一般教養】漢字（訓読み送り仮名編）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第4回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）①</p> <p>【集計処理能力】電卓技能検定試験対策問題演習②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第5回	<p>【社会人常識マナー】一般知識</p> <p>【一般教養】漢字（熟語編）①</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第6回	<p>【一般教養】漢字（熟語編）②</p> <p>【集計処理能力】電卓技能検定試験 対策問題演習③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第7回	<p>【社会人常識マナー】ビジネス計算</p> <p>【一般教養】漢字（熟語編）③</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第8回	<p>【一般教養】漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）①</p> <p>【集計処理能力】電卓技能検定試験 対策問題演習④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第9回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネスコミュニケーション</p> <p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第10回	<p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）③</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑤</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第11回	<p>【社会人常識マナー】 社会人にふさわしい言葉遣い</p> <p>【一般教養】 漢字（同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第12回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）①</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑥</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第13回	<p>【社会人常識マナー】 ビジネス文書の書き方と留意点</p> <p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）②</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第14回	<p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）③</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑦</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第15回	<p>【社会人常識マナー】 職場のマナー、来客応対</p> <p>【一般教養】 漢字（誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方）④</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第16回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題①（訓読み送り仮名編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑧</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第17回	<p>【社会人常識マナー】 電話応対、交際業務</p> <p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題②（熟語編）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第18回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題③（熟語編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑨</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第19回	<p>【社会人常識マナー】 文書類の受け取りと発送</p> <p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題④ （同音異義・異字同訓・反対語・類義語編）</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第20回	<p>【一般教養】 漢字能力検定試験 項目別問題⑤ （誤字訂正・漢字の意味・漢字の使い方編）</p> <p>【集計処理能力】 電卓技能検定試験 対策問題演習⑩</p>	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第21回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第22回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第23回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第24回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第25回	【社会人常識マナー】過去問題 演習・解説⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第26回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第1回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第27回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第2回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第28回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第3回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第29回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第4回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第30回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 第5回	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第31回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第32回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生

第33回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第34回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第35回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第36回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑥	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
第37回	【一般教養】漢字能力検定試験 直前模擬試験 モノグサ⑦	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治 竹村 幸生
準備学習等	予習と課題については適宜講義中に指示する。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>社会人常識マナー検定テキスト（株式会社エデュプレス） 社会人常識マナー検定試験 過去問題集（公益社団法人 全国経理教育協会） 漢字能力検定試験対策問題集2級（学校法人 大原学園） 漢字能力検定試験対策直前模擬試験 第1回～第5回（学校法人 大原学園） 電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級問題（大原出版） ※受験級に応じて各自購入 電卓技能検定試験 段位、1・2、3・4級伝票算問題（大原出版） ※受験級に応じて各自購入 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニン））</p>
<p>備考</p>	<p>初回のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 社会人基礎Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため、各学科各学科合同授業となる。また、受講生を複数の教室に分けて講義を行うため、科目教員を多く配置している。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人基礎Ⅲ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、菊地 裕俊、工藤 英一、 千葉 菜愛、穴戸 雄翔、鈴木 裕治	授業回数	37回
		成績評価方法	レポート : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「社会人基礎Ⅰ」及び「社会人基礎Ⅱ」で学んだ内容を基礎として、自己の履歴書を作成するとともに、業界研究、業種研究等を行い自分にマッチングした仕事を見つけ、社会人として必要なビジネススキル及び対人能力（協調性、リーダーシップ、傾聴力）を養うことを授業目的とする。また、自分の意見や考えを臆することなく述べることができる様にすることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 職業理解、会社選びのポイント	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治	
第2回	企業へのアクセス 応募書類の準備	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治	

第3回	就職活動におけるスケジュールの管理とトラブル対応 (就職体験報告会)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第4回	一般常識講義 (時事①、SPI適性試験①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第5回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策①) 対人能力向上 (グループディスカッション①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第6回	一般常識講義 (時事②) 社会人マナー (入退室等の作法①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第7回	一般常識講義 (SPI・適性検査対策②) 対人能力向上 (集団面接①)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第8回	一般常識講義 (時事③) 対人能力向上 (集団面接②)	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第9回	一般常識講義（SPI・適正検査対策③、作文作成法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第10回	一般常識講義（時事④、SPI適性試験②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第11回	一般常識講義（SPI・適性検査対策④） 対人能力向上（グループディスカッション②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第12回	一般常識講義（時事⑤） 社会人マナー（入退室等の作法②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第13回	一般常識講義（SPI・適性検査対策⑤） 対人能力向上（個人面接①）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第14回	一般常識講義（時事⑥） 対人能力向上（個人面接②）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第15回	効果測定（入退室等の作法）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第16回	企業研究①（企業情報、事業内容）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第17回	企業研究②（採用情報）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第18回	企業研究③（人事・教育制度、福利厚生）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第19回	企業研究④（同業界での他社との比較）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第20回	企業研究⑤（企業とのマッチング具合を分析する）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第21回	業界研究①（業界の全体像を捉える）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第22回	業界研究②（業界ごとの特徴を理解する）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第23回	業界研究③（業界の成長性・安定性を知る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第24回	職種研究①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第25回	職種研究②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第26回	自己分析①（適性検査）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第27回	自己分析②（趣味、余暇活動を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第28回	自己分析③（ボランティア活動、部活動を振り返る）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第29回	自己分析④（自己PRの作成）	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第30回	履歴書の作成①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第31回	履歴書の作成②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第32回	就職試験対策 ラインズSPI①	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治

第33回	就職試験対策 ラインズSPI②	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第34回	就職試験対策 ラインズSPI③	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第35回	就職試験対策 ラインズSPI④	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第36回	就職試験対策 ラインズSPI⑤	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
第37回	就職試験対策 ラインズSPI⑥	鈴木 秀俊 菊地 裕俊 工藤 英一 千葉 菜愛 穴戸 雄翔 鈴木 裕治
準備学習等	予習と課題については適宜講義中に指示する。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック（学校法人 大原学園） 就職ノートブック（学校法人 大原学園） 就職模擬試験（実務教育出版）※適性検査で使用 SPI対策テスト Type-B（株式会社 教育企画センター）※適性検査で使用 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング）） ラインズSPI（ラインズ株式会社（e-ラーニング））	

備考	<p>初回のみ3時間講義となる。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。</p> <p>社会人基礎Ⅲは、各学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>また、受講生を複数の教室に分けて講義をするため、科目教員を多く配置している。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義にモノグサおよびラインズSPIを使用する。</p>
----	--

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	複式簿記の原理	授業形態	
		選必の別	講義
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	工藤 英一、竹村 幸生	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>小規模の株式会社を前提とした簿記を学習します。簿記の基本となる日々の取引の仕訳ができるようになること、さらには決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを目的としています。</p> <p>また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標としています。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	簿記の目的 簿記一巡の手続き 株式会社の資本	工藤 英一 竹村 幸生	
第2回	商品売買Ⅰ（3分法、売掛金、買掛金、返品、分記法の記帳方法）	工藤 英一 竹村 幸生	
第3回	商品売買Ⅱ（仕入諸掛、販売諸掛、前払金、前受金、受取商品券）	工藤 英一 竹村 幸生	
第4回	繰越商品および仕入の決算整理 精算表の作成	工藤 英一 竹村 幸生	
第5回	現金および預金 当座借越の振替え 手形の記帳方法	工藤 英一 竹村 幸生	
第6回	第1回確認テスト実施および解説 受取手形および売掛金の決算整理	工藤 英一 竹村 幸生	

第7回	有形固定資産 有形固定資産の決算整理 現金過不足及び現金の決算整理	工藤 英一 竹村 幸生
第8回	貯蔵品の決算整理 その他の債権および債務の記帳方法	工藤 英一 竹村 幸生
第9回	税金、消費税、法人税等の決算整理 訂正仕訳	工藤 英一 竹村 幸生
第10回	損益計算書および貸借対照表の作成	工藤 英一 竹村 幸生
第11回	第2回確認テスト実施および解説	工藤 英一 竹村 幸生
第12回	主要簿と補助簿 現金出納帳および当座預金出納帳 小口現金出納帳	工藤 英一 竹村 幸生
第13回	仕入帳、売上帳 売掛金元帳、買掛金元帳 商品有高帳	工藤 英一 竹村 幸生
第14回	手形記入帳 固定資産管理台帳	工藤 英一 竹村 幸生
第15回	試算表の作成 伝票会計	工藤 英一 竹村 幸生
準備学習等	日々の復習を欠かさずに行うことが重要です。わからないところはそのままにせず質問するようにしてください。また、授業の始めに前回の授業範囲の確認のためにミニテストを行いますので、復習を徹底するようにしてください。予習は不要です。	
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記 (大原出版)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。複式簿記の原理は、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	株式会社社会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	12回
科目教員	工藤 英一、竹村 幸生	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」で履修した内容を基に、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得します。そして本試験レベルの問題に対応できる力を養うことを目的としています。さらに、項目ごとに一通りの処理を確認するとともに、各自の苦手項目を明確にし重点的に確認を行います。日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できる能力を身につけることを到達目標としています。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：商品売買 試算表：合計残高試算表 財務諸表：精算表	工藤 英一 竹村 幸生	
第2回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：固定資産 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	工藤 英一 竹村 幸生	
第3回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：貸倒れ、貸付金、借入金 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤 英一 竹村 幸生	
第4回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：給料、現金過不足 試算表：合計残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤 英一 竹村 幸生	

第5回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：仮受金、仮払金、その他 試算表：合計試算表 財務諸表：精算表	工藤 英一 竹村 幸生
第6回	項目別答練問題集実施、解説 仕訳：訂正仕訳 試算表：残高試算表 財務諸表：損益計算書および貸借対照表	工藤 英一 竹村 幸生
第7回	直前対策講義実施、解説 仕訳：商品売買 個別問題：伝票 試験対策問題演習・解説①	工藤 英一 竹村 幸生
第8回	直前対策講義実施、解説 仕訳：債権・債務 個別問題：商品有高帳 模擬試験問題演習・解説②	工藤 英一 竹村 幸生
第9回	直前対策講義実施、解説 仕訳：有形固定資産 個別問題：補助問題 模擬試験問題演習・解説③	工藤 英一 竹村 幸生
第10回	直前対策講義実施、解説 仕訳：株式会社の資本、その他の取引① 個別問題：勘定記入 模擬試験問題演習・解説④	工藤 英一 竹村 幸生
第11回	直前対策講義実施、解説 仕訳：その他の取引②③ 個別問題：固定資産台帳 模擬試験問題演習・解説⑤	工藤 英一 竹村 幸生
第12回	模擬試験問題演習・解説⑥	工藤 英一 竹村 幸生
準備学習等	毎回の問題のやり直しを徹底してください。また、授業だけでなく各自で勉強の時間を確保し、苦手項目の復習に力を入れてください。理解が不十分な場合には科目教員に質問し解決したうえで次回の授業に臨むようにし、自宅学習の方法等で迷った場合も科目教員に相談するようにしてください。なお、予習は不要です。	
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) 日商簿記3級 過去問分析より徹底予想! 試験によく出る問題集 (大原出版) ESSENTIAL 項目別答練問題集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 項目別答練解答集 (学校法人 大原学園)	

備考	<p>12回目の講義は6時間とする。</p> <p>授業計画の各回の授業内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。株式会社会計は、各学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となります。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>
----	--

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	株式会社社会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	7回
科目教員	工藤 英一、竹村 幸生	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「複式簿記の原理」及び「株式会社社会計」で履修した内容を基に、本試験を意識して問題演習を行います。さらに本試験前の時間の使い方や時間配分を意識することで、より本試験に対応できる能力を身につけることを目的としています。また、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できるレベルを目指します。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	問題演習・解説 直前模擬試験 第1回	工藤 英一 竹村 幸生
第2回	問題演習・解説 直前模擬試験 第2回	工藤 英一 竹村 幸生
第3回	問題演習・解説 直前模擬試験 第3回	工藤 英一 竹村 幸生
第4回	問題演習・解説 直前模擬試験 第4回	工藤 英一 竹村 幸生
第5回	問題演習・解説 オリジナル模擬試験①	工藤 英一 竹村 幸生
第6回	問題演習・解説 オリジナル模擬試験②	工藤 英一 竹村 幸生
第7回	問題演習・解説 最終確認問題	工藤 英一 竹村 幸生

準備学習等	<p>本試験直前の問題演習です。やり直しを完璧に行い、分からないところがある場合には科目教員に質問し、解決したうえで次の問題演習に臨むようにしてください。また、本試験と同じ時間帯で行いますので、始まる前の時間の使い方や時間配分、見直しの仕方なども意識して臨むようにしましょう。</p>	
教科書 参考書等	<p>ALFA 3級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記 (大原出版) 日商3級 過去問分析より徹底予想! 試験によく出る問題集 (大原出版) 2026年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回~第4回 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>7回目の講義は4時間とする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 株式会社社会計演習Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。 各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>	

学科		情報ビジネス学科（3年課程）			
学年		1 学年			
科目名	株式会社社会計演習Ⅱ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数	2単位		
科目教員		工藤 英一、竹村 幸生		授業回数	7回
				成績 評価 方法	筆記試験
平常点	: 30 %				
	: %				
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「株式会社演習Ⅰ」で履修した内容を基に、本試験を意識して問題演習を行います。さらに本試験前の時間の使い方や時間配分を意識することで、より本試験に対応できる能力を身につけることを目的としています。また、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格できるレベルを目指します。				
授業計画					
回数	授業内容		科目教員		
第1回	問題演習・解説 直前模擬試験 第1回		工藤 英一 竹村 幸生		
第2回	問題演習・解説 直前模擬試験 第2回		工藤 英一 竹村 幸生		
第3回	問題演習・解説 直前模擬試験 第3回		工藤 英一 竹村 幸生		
第4回	問題演習・解説 直前模擬試験 第4回		工藤 英一 竹村 幸生		
第5回	問題演習・解説 オリジナル模擬試験①		工藤 英一 竹村 幸生		
第6回	問題演習・解説 オリジナル模擬試験②		工藤 英一 竹村 幸生		
第7回	問題演習・解説 最終確認問題		工藤 英一 竹村 幸生		

準備学習等	<p>本試験直前の問題演習です。やり直しを完璧に行い、分からないところがある場合には科目教員に質問し、解決したうえで次の問題演習に臨むようにしてください。また、本試験と同じ時間帯で行いますので、始まる前の時間の使い方や時間配分、見直しの仕方なども意識して臨むようにしましょう。</p>	
教科書 参考書等	<p>ALFA 3級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 3級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記 (大原出版) 日商3級 過去問分析より徹底予想! 試験によく出る問題集 (大原出版) 2025年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回~第4回 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>7回目の講義は4時間とする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 株式会社社会計演習Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となります。 各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、中島 京哉、 千葉 菜愛	授業回数	19回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	工業簿記総論 原価計算の手続き(個別原価計算・総合原価計算)	菊地 裕俊 中島 京哉	
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第3回	材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計	菊地 裕俊 中島 京哉	
第4回	棚卸資産、有価証券	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第5回	部門別計算、単純個別原価計算	菊地 裕俊 中島 京哉	
第6回	有形固定資産、リース会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	
第7回	無形固定資産、 ソフトウェア、引当金	穴戸 雄翔 千葉 菜愛	

第8回	単純総合原価計算、工程別総合原価計算 組別・等級別総合原価計算	菊地 裕俊 中島 京哉
第9回	収益及び費用、研究開発費、為替換算会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第10回	株式会社の純資産、株式の発行、剰余金の配当	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第11回	標準原価計算、CVP分析	菊地 裕俊 中島 京哉
第12回	企業結合、消費税、法人税等、税効果会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第13回	直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	菊地 裕俊 中島 京哉
第14回	損益計算書、貸借対照表、精算表、補助簿	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第15回	本支店会計	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第16回	工場会計、公企業の財務諸表	菊地 裕俊 中島 京哉
第17回	連結会計 連結会社相互間取引の相殺消去等、未実現損益の消去	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第18回	製造業を営む会社の決算処理	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第19回	統一模擬試験	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (eラーニング))</p>
<p>備考</p>	<p>19統一模擬試験のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 中小企業会計Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	17回
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、中島 京哉、 千葉 菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 (材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計)	菊地 裕俊 中島 京哉
第2回	商業簿記問題、解説 演習答練 第1回、第2回 (仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書)	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	菊地 裕俊 中島 京哉
第4回	商業簿記問題、解説 演習答練 第3回、第4回 (仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書)	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	菊地 裕俊 中島 京哉
第6回	商業簿記問題、解説 演習答練 第5回、第6回 (仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表)	穴戸 雄翔 千葉 菜愛

第7回	商業簿記問題、解説 演習答練 第7回、第8回（仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表）	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第8回	答練期問題集項目別解説 （工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算）	菊地 裕俊 中島 京哉
第9回	商業簿記問題、解説 演習答練 第9回（仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表）	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第10回	商業簿記問題、解説 演習答練 第10回（仕訳、リース会計、精算表）	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第11回	答練期問題集項目別解説 （標準原価計算、CVP分析）	菊地 裕俊 中島 京哉
第12回	商業簿記問題、解説 演習答練 第11回、第12回（仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表）	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第13回	答練期問題集項目別解説 （直接原価計算、全部原価計算、固定費調整）	菊地 裕俊 中島 京哉
第14回	商業簿記問題、解説 演習答練 第13回（仕訳、外貨建て、残高試算表） 演習答練 第14回（仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書）	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第15回	答練期問題集項目別解説 （工場会計、公企業の財務諸表）	菊地 裕俊 中島 京哉
第16回	商業簿記問題、解説 演習答練 第15回（仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表） 演習答練 第16回（仕訳、本支店会計、連結精算表）	穴戸 雄翔 千葉 菜愛
第17回	最終確認テスト	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 演習問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 演習問題編 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題、解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題、解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】</p>
<p>備考</p>	<p>17回目の最終確認テストのみ2時間講義とする。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 中小企業会計Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、中島 京哉、 千葉 菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」及び「中小企業会計Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	直前模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第2回	直前模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第3回	弱点克服問題演習① オリジナル模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第4回	直前模擬試験 第3回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛

第5回	直前模擬試験 第4回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第6回	直前模擬試験 第5回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第7回	直前模擬試験 第6回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第8回	弱点克服問題演習② オリジナル模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第9回	弱点克服問題演習③	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第10回	最終確認問題 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違えた問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (問題編) (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (解答編) (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 2026年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) 2026年度試験あてるTAC予想模試+解き方テキスト 日商簿記2級 (TAC出版) モノグサ (モノグサ株式会社 (eラーニング))</p>	

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。中小企業会計演習Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>
----	---

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	中小企業会計演習Ⅱ	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位	
		授業回数	10回	
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔、中島 京哉、 千葉 菜愛	成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
				: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「中小企業会計Ⅰ」及び「中小企業会計Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。			

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	直前模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第2回	直前模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第3回	弱点克服問題演習① オリジナル模擬試験 第1回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第4回	直前模擬試験 第3回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛

第5回	直前模擬試験 第4回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第6回	直前模擬試験 第5回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第7回	直前模擬試験 第6回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第8回	弱点克服問題演習② オリジナル模擬試験 第2回 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第9回	弱点克服問題演習③	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
第10回	最終確認問題 演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔 中島 京哉 千葉 菜愛
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違えた問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (問題編) (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (解答編) (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 2025年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) モノグサ (モノグサ株式会社 (eラーニング))</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。中小企業会計演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	公開企業会計Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	4単位
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「公開企業会計Ⅱ」に積極的に取り組めるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計、有形固定資産	穴戸 雄翔	
第2回	工業簿記総論、費目別計算	菊地 裕俊	
第3回	割引現在価値、リース取引	穴戸 雄翔	
第4回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地 裕俊	
第5回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	穴戸 雄翔	
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算、工程別総合原価計算	菊地 裕俊	
第7回	社債、引当金	穴戸 雄翔	

第8回	退職給付、資産除去債務	穴戸 雄翔
第9回	組別総合原価計算、等級別総合原価計算、連産品、副産物	菊地 裕俊
第10回	純資産、新株予約権、ストックオプション	穴戸 雄翔
第11回	標準原価計算、直接原価計算、全部原価計算	菊地 裕俊
第12回	税効果会計	穴戸 雄翔
第13回	CVP分析、原価分解、事業部制	菊地 裕俊
第14回	外貨建取引	穴戸 雄翔
第15回	簿記1級本科統一模擬試験 第1回 実施・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔

準備学習等	毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。毎日の授業の復習を怠らないようにすること。
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計 (大原出版)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計 (大原出版)</p> <p>【共通】 簿記1級本科統一模擬試験 第1回 (学校法人 大原学園) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>

備考	<p>15回目の講義は2時間とする。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。</p> <p>公開企業会計Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義、試験でモノグサを使用する。</p>
----	---

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	公開企業会計Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	4単位
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の実務経験内容		: %	
授業目的到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」を前提に、会計専門職(税理士・公認会計士等)を目指す者として高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	商品売買等	穴戸 雄翔	
第2回	予算管理、予算編成、予算統制	菊地 裕俊	
第3回	工事契約、本支店会計	穴戸 雄翔	
第4回	意思決定会計総論、業務的意思決定会計	菊地 裕俊	
第5回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	穴戸 雄翔	
第6回	構造的意決定会計	菊地 裕俊	
第7回	持分法、連結税効果会計、包括利益	穴戸 雄翔	

第8回	簿記1級本科統一模擬試験 第2回 実施・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第9回	在外子会社、企業結合	穴戸 雄翔
第10回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第11回	事業分離	穴戸 雄翔
第12回	過去試験問題演習解説①（日商簿記過去試験問題第161回、第162回）	菊地 裕俊
第13回	キャッシュ・フロー計算書	穴戸 雄翔
第14回	連結キャッシュ・フロー計算書、会計上の変更及び誤謬の訂正	穴戸 雄翔
第15回	簿記1級本科統一模擬試験 第3回 実施・解説	菊地 裕俊

準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。
-------	---

教科書 参考書等	<p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ（学校法人 大原学園）</p> <p>ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計（大原出版）</p> <p>【工業簿記・原価計算】</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 問題編（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 解答編（学校法人 大原学園）</p> <p>簿記1級受験用 日商簿記過去問 問題編（学校法人 大原学園）</p> <p>簿記1級受験用 日商簿記過去問 解答編（学校法人 大原学園）</p> <p>ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計（大原出版）</p> <p>1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題、解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】</p> <p>簿記1級本科統一模擬試験 第2回、第3回（学校法人 大原学園）</p> <p>モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>
-------------	---

備考	<p>15回目の講義は2時間とする。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。</p> <p>公開企業会計Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>
----	---

学科		情報ビジネス学科（3年課程）	
学年		1 学年	
科目名	公開企業会計演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅰ」及び「公開企業会計Ⅱ」を前提とし、ここまで習得した知識を活用し、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。難易度の高い問題を解くことで、知識の定着を図る。さらに、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第1回 演習・解説		菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第2回	日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第2回 演習・解説		菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第3回	日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第3回 演習・解説		菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第4回	弱点克服問題演習①		菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第5回	日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第4回 演習・解説		菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第6回	日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第5回 演習・解説		菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第7回	日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第6回 演習・解説		菊地 裕俊 穴戸 雄翔

第8回	日商簿記検定第173回対策 全国統一公開模擬試験	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第9回	弱点克服問題演習②	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第10回	最終確認問題演習	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。なお、予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>1級商業簿記・会計学 基礎期 模擬試験①～⑧ 問題、解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>1級商業簿記・会計学 基礎期 確認テスト①～⑧ 問題、解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記・原価計算】</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園)</p> <p>1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題、解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】</p> <p>日商簿記検定第173回対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園)</p> <p>日商簿記検定第173回対策 全国統一公開模擬試験 (学校法人 大原学園)</p> <p>過去問題集 日商簿記1級 (大原出版)</p> <p>第173回をあてるTAC直前予想模擬 日商簿記1級 (TAC出版)</p>	
備考	<p>9回目の講義は4時間とする。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>公開企業会計演習Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	公開企業会計演習Ⅱ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、穴戸 雄翔		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計演習Ⅰ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。難易度の高い問題を解くことで、知識の定着を図る。さらに、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第1回 演習・解説				菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第2回	日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第2回 演習・解説				菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第3回	日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第3回 演習・解説				菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第4回	弱点克服問題演習①				菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第5回	日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第4回 演習・解説				菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第6回	日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第5回 演習・解説				菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第7回	日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第6回 演習・解説				菊地 裕俊 穴戸 雄翔

第8回	弱点克服問題演習②	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第9回	日商簿記検定第170回対策 全国統一公開模擬試験	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
第10回	最終確認問題演習・解説	菊地 裕俊 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。なお、予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 日商簿記検定第170回対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) 日商簿記検定第170回対策 全国統一公開模擬試験 (学校法人 大原学園) 過去問題集 日商簿記1級 (大原出版) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 公開企業会計演習Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	商業簿記上級	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位	
科目教員	穴戸 雄翔	授業回数	15回	
		成績 評価 方法	筆記試験	: 50 %
			ミニテスト	: 30 %
			平常点	: 20 %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %	
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・財務会計を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	財務諸表分析、一般原則	穴戸 雄翔		
第2回	損益計算書原則	穴戸 雄翔		
第3回	貸借対照表原則	穴戸 雄翔		
第4回	資産会計、負債会計	穴戸 雄翔		
第5回	純資産会計	穴戸 雄翔		
第6回	外貨建取引会計	穴戸 雄翔		
第7回	税効果会計	穴戸 雄翔		

第8回	企業結合会計	穴戸 雄翔
第9回	連結会計	穴戸 雄翔
第10回	キャッシュ・フロー会計	穴戸 雄翔
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	穴戸 雄翔
第12回	概念フレームワーク	穴戸 雄翔
第13回	会社再編の会計①	穴戸 雄翔
第14回	会社再編の会計②	穴戸 雄翔
第15回	四半期連結財務諸表	穴戸 雄翔
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ（学校法人 大原学園）</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ（学校法人 大原学園）</p> <p>全経簿記上級 商業簿記・財務会計テキスト（中央経済社）</p> <p>全経簿記能力検定試験標準問題集 上級商業簿記・財務会計（中央経済社）</p> <p>簿記検定全経上級 直前対策講義 商業簿記・財務会計（学校法人 大原学園）</p> <p>モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>商業簿記上級は、各学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	原価計算上級	授業形態	
		選必の別	講義
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	菊地 裕俊	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「公開企業会計Ⅱ」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な工業簿記・原価計算を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計	菊地 裕俊	
第2回	部門別原価計算、個別原価計算	菊地 裕俊	
第3回	総合原価計算	菊地 裕俊	
第4回	標準原価計算	菊地 裕俊	
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解	菊地 裕俊	
第6回	事業部制	菊地 裕俊	
第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定	菊地 裕俊	

第8回	構造的意決定	菊地 裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第10回	工場独立会計	菊地 裕俊
第11回	直前対策講義 過去問題解説(第195回、第197回)	菊地 裕俊
第12回	直前対策講義 過去問題解説(第199回、第201回)	菊地 裕俊
第13回	直前対策講義 過去問題解説(第203回、第205回)	菊地 裕俊
第14回	直前対策講義 過去問題解説(第207回、第209回)	菊地 裕俊
第15回	直前対策講義 過去問題解説(第211回、第213回)	菊地 裕俊
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記上級 原価計算・管理会計テキスト (中央経済社) 全経簿記能力検定試験標準問題集 上級原価計算・管理会計 (中央経済社) 簿記検定全経上級 直前対策講義 原価計算・管理会計 (学校法人 大原学園)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 原価 計算上級は、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記1級I	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	15回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	大企業及び上場企業を前提とし、日々の取引から財務諸表作成までの簿記一巡の会計処理ができる商業簿記及び会計学の基礎知識を習得する。また、製造業を前提とした企業の会計処理を行うための工業簿記及び原価計算の基礎知識を習得することを目的とする。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記1級II」に積極的に取り組めるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	有価証券、デリバティブ取引、ヘッジ会計	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第2回	工業簿記総論、費目別計算、個別原価計算	菊地 裕俊	
第3回	有形固定資産、割引現在価値	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第4回	部門別原価計算、部門個別原価計算	菊地 裕俊	
第5回	リース取引	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第6回	総合原価計算総論、単純総合原価計算	菊地 裕俊	
第7回	研究開発費、ソフトウェア、減損、繰延資産	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	

第8回	社債、引当金	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算 副産物、連産品	菊地 裕俊
第10回	退職給付、資産除去債務	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第11回	標準原価計算	菊地 裕俊
第12回	純資産、新株予約権、ストックオプション	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第13回	CVP分析、原価分解	菊地 裕俊
第14回	税効果会計	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第15回	本科統一模擬試験 第1回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	<p>毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。</p> <p>毎日の授業の復習や課題を怠らないようにすること。</p>	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ（学校法人 大原学園） ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ（学校法人 大原学園） ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 商業簿記・会計学（大原出版）</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 工業簿記・原価計算（大原出版）</p> <p>【共通】 本科統一模擬試験 第1回（学校法人 大原学園） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記1級II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	15回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級I」を前提に、商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の知識を深め、基礎的な内容の問題を自力で解けるようにする。また、難解な問題に対し、どのように問題を解いていけばいいかなどの思考力を身につける。その上で、本講義終了後の科目「日商簿記1級III」に積極的に取り組めるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	外貨建取引	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第2回	直接原価計算・全部原価計算	菊地 裕俊	
第3回	商品売買等	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第4回	CVP分析・原価分解	菊地 裕俊	
第5回	工事契約、本支店会計	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第6回	事業部制	菊地 裕俊	
第7回	連結財務諸表総論、資本連結、成果連結	千葉 菜愛 穴戸 雄翔	

第8回	持分法、連結税効果会計、包括利益	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	意思決定会計総論・業務的意思決定	菊地 裕俊
第10回	在外子会社、企業結合	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第11回	意思決定会計総論・構造的意決定	菊地 裕俊
第12回	事業分離	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第13回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第14回	キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、 会計上の変更及び誤謬の訂正	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第15回	本科統一模擬試験 第2回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	<p>毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。</p> <p>毎日の授業の復習や課題を怠らないようにすること。</p>	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ（学校法人 大原学園） ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ（学校法人 大原学園） ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計（大原出版）</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計（大原出版） 簿記能力検定試験過去試験問題集 1級 工業簿記・原価計算 （一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会）</p> <p>【共通】 本科統一模擬試験 第2回（学校法人 大原学園） モノグサ（モノグサ株式会社（eラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	日商簿記1級Ⅲ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	4単位
				授業回数	20回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>科目「日商簿記1級Ⅱ」、「商業簿記上級」、「原価計算上級」を前提に、会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。</p> <p>また、最終的には日本商工会議所主催簿記検定試験1級及び日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。</p>				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験①②実施・解説			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第2回	【工業簿記・原価計算】項目別（費目別）問題解説			菊地 裕俊	
第3回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験③④ 実施・解説			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第4回	【工業簿記・原価計算】項目別（部門別）問題解説			菊地 裕俊	
第5回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑤⑥ 実施・解説			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第6回	【工業簿記・原価計算】項目別（製品別）問題解説			菊地 裕俊	
第7回	【商業簿記・会計学】基礎期模擬試験⑦⑧ 実施・解説			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	

第8回	【商業簿記・会計学】確認テスト① 実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験①② 実施・解説	菊地 裕俊
第10回	【商業簿記・会計学】確認テスト② 実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第11回	【商業簿記・会計学】確認テスト③実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第12回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験③④ 実施・解説	菊地 裕俊
第13回	【商業簿記・会計学】確認テスト④実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第14回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑤実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第15回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験⑤ 実施・解説	菊地 裕俊
第16回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑥実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第17回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑦実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第18回	【工業簿記・原価計算】基礎期 模擬試験⑥ 実施・解説	菊地 裕俊
第19回	【商業簿記・会計学】確認テスト⑧実施・解説	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第20回	本科統一模擬試験 第3回 実施・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点等は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ（学校法人 大原学園） ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 商簿・会計（学校法人 大原学園） 簿記能力検定試験過去問題集1級 商業簿記・会計学（一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 1級商業簿記・会計学 基礎期 模擬試験①～⑧ 問題、解答・解説（学校法人 大原学園） 1級商業簿記・会計学 基礎期 確認テスト①～⑧ 問題、解答・解説（学校法人 大原学園）</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 問題編（学校法人 大原学園） ALFA 1級工業簿記・原価計算 基礎答練 解答編（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記1級 工簿・原計（学校法人 大原学園） 簿記能力検定試験過去試験問題集 1級 工業簿記・原価計算（一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会） 1級工業簿記・原価計算 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題、解答・解説（学校法人 大原学園）</p> <p>【共通】 本科統一模擬試験 第3回（学校法人 大原学園） 2026年度 日商簿記1級 網羅型完全予想問題集（TAC出版）</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級Ⅲは、各学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義でモノグサを使用する。</p>

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	日商簿記1級演習Ⅰ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	<p>科目「日商簿記1級Ⅲ」を前提とし、ここまで習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。</p> <p>また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。</p>				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	項目別(費目別計算、個別原価計算、部門別計算)解説			菊地 裕俊	
第2回	第1回 日ビ簿記1級 過去試験対策（一部抜粋）			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第3回	項目別(総合原価計算、標準原価計算)解説			菊地 裕俊	
第4回	第2回 日ビ簿記1級 過去試験対策（一部抜粋）			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第5回	項目別(CVP分析・原価分解)解説			菊地 裕俊	
第6回	第3回 日ビ簿記1級 過去試験対策（一部抜粋）			千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第7回	項目別(業務的意思決定、構造的な意思決定)解説			菊地 裕俊	

第8回	第4回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	項目別(事業部制・戦略的原価計算)解説	菊地 裕俊
第10回	第5回 日ビ簿記1級 過去試験対策 (一部抜粋)	千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験過去問題集1級 商業簿記・会計学 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験過去問題集1級 工業簿記・原価計算 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級演習Ⅰは、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義でモノグサを使用する。	

学科		情報ビジネス学科（3年課程）	
学年		1 学年	
科目名	日商簿記1級演習II	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級演習I」を前提とし、ここまで習得した知識を活用し、商業簿記・会計学では日本ビジネス技能検定協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「日ビ簿記1級」という。）の問題演習を行う。工業簿記・原価計算では、日ビ簿記1級と同程度の問題演習を行う。数多くの問題を解くことにより、知識の定着を図ることを目的とする。また、日ビ簿記1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第1回		菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第2回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第2回		菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第3回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第3回		菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第4回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第4回		菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第5回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第5回		菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔

第6回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第6回	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第7回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第7回	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第8回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第8回	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第9回	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第10回	日ビ簿記1級 過去試験問題 演習・解説 第10回	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔

準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。
-------	---

教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>簿記能力検定試験過去問題集1級 商業簿記・会計学 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p> <p>【工業簿記・原価計算】</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園)</p> <p>簿記能力検定試験過去問題集1級 工業簿記・原価計算 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p> <p>【共通】</p> <p>モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>
-------------	--

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級演習Ⅱは、各学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義でモノグサを使用する。</p>
----	---

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	日商簿記1級演習Ⅲ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級演習Ⅱ」を前提とし、ここまでに習得した知識を活用し、日本商工会議所主催簿記検定試験1級（以下、「日商簿記1級」という。）の商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。問題文が複雑であることから、問題の内容をしっかりと把握する読解力を養う。また、1つの問に対し、解法がいくつかあるため、自ら考え判断し、正答を導き出す力を養成する。最終的には、日商簿記1級に合格できる能力を身につけることを目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	第168回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第2回	第167回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第3回	第165回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第4回	第164回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第5回	第162回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	

第6回	第161回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第7回	第159回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第8回	第158回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	第157回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第10回	第156回日商簿記1級 過去試験問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。また、基礎論点の復習を中心的に行うことによって応用力が身につくものと認識すること。予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>過去問題集 日商簿記1級 (大原出版)</p> <p>2026年度 日商簿記1級 網羅型完全予想問題集 (TAC出版)</p> <p>【工業簿記・原価計算】</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園)</p> <p>簿記1級受験用 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園)</p> <p>簿記1級受験用 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】</p> <p>モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>日商簿記1級演習Ⅲは、各学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	日商簿記1級演習Ⅳ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	10回
科目教員	菊地 裕俊、千葉 菜愛、穴戸 雄翔		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「日商簿記1級演習Ⅲ」を前提とし、更なる知識の定着を図るため、難易度の高い商業簿記・会計学及び工業簿記・原価計算の問題演習を行う。会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第1回 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第2回	日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第2回 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第3回	日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第3回 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第4回	弱点克服問題演習①			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	
第5回	日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第4回 演習・解説			菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔	

第6回	日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第5回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第7回	日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第6回 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第8回	弱点克服問題演習②	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第9回	日商簿記検定第174回対策 全国統一公開模擬試験 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
第10回	最終確認問題 演習・解説	菊地 裕俊 千葉 菜愛 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の授業が本試験だと考え、常に緊張感をもって取り組むこと。 また、各回の復習を必ず行うこと。予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】 ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園) ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 日商簿記検定第174回対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) 日商簿記検定第174回対策 全国統一公開模擬試験 (学校法人 大原学園) 過去問題集 日商簿記1級 (大原出版) 第174回をあてるTAC直前予想模擬 日商簿記1級 (TAC出版) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記1級演習Ⅳは、各学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級I	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	19回
		成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			平常点 : 20 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の実務経験に関する授業内容		: %	
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>中小企業を前提とした商業簿記及び工業簿記を学習する。商業簿記については、日々の会計処理から決算処理を行い、損益計算書及び貸借対照表の財務諸表を作成する知識技術を習得する。工業簿記については、各業態における原価計算の手続きを習得する。財務諸表を作成する知識技術を身につけ、短期利益計画及び損益分岐分析ができることを目的とする。最終的には、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	工業簿記総論、原価計算の手続き(個別原価計算・総合原価計算)	鈴木 秀俊	
第2回	簿記一巡の手続き、財務諸表、現金預金、債権・債務	穴戸 雄翔	
第3回	材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計	鈴木 秀俊	
第4回	棚卸資産、有価証券	穴戸 雄翔	
第5回	部門別計算、単純個別原価計算	鈴木 秀俊	
第6回	有形固定資産、リース会計	穴戸 雄翔	
第7回	無形固定資産、ソフトウェア、引当金	穴戸 雄翔	

第8回	単純総合原価計算、工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算	鈴木 秀俊
第9回	収益及び費用、研究開発費、為替換算会計	穴戸 雄翔
第10回	株式会社の純資産、株式の発行、剰余金の配当	穴戸 雄翔
第11回	標準原価計算、CVP分析	鈴木 秀俊
第12回	企業結合、消費税、法人税等、税効果会計	穴戸 雄翔
第13回	直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	鈴木 秀俊
第14回	損益計算書、貸借対照表、精算表、補助簿	穴戸 雄翔
第15回	本支店会計	穴戸 雄翔
第16回	工場会計、公企業の財務諸表	鈴木 秀俊
第17回	連結会計 連結会社相互間取引の相殺消去等、未実現損益の消去	穴戸 雄翔
第18回	製造業を営む会社の決算処理	穴戸 雄翔
第19回	統一模擬試験	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>
<p>備考</p>	<p>19回統一模擬試験のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 日商簿記2級Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級II	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	19回
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 50 %
			ミニテスト : 30 %
			平常点 : 20 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級I」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	答練期問題集項目別解説 (材料費会計、労務費会計、経費会計、製造間接費会計)	鈴木 秀俊
第2回	商業簿記問題 解説 演習答練 第1回、第2回 (仕訳、株主資本等変動計算書、有価証券、損益計算書)	穴戸 雄翔
第3回	答練期問題集項目別解説 (部門別計算)	鈴木 秀俊
第4回	商業簿記問題 解説 演習答練 第3回、第4回 (仕訳、商品売買、固定資産、損益計算書)	穴戸 雄翔
第5回	答練期問題集項目別解説 (個別原価計算、単純総合原価計算)	鈴木 秀俊
第6回	商業簿記問題 解説 演習答練 第5回、第6回 (仕訳、銀行勘定調整表、株主資本等変動計算書、貸借対照表)	穴戸 雄翔
第7回	商業簿記問題 解説 演習答練 第7回、第8回 (仕訳、有価証券、固定資産、貸借対照表)	穴戸 雄翔

第8回	答練期問題集項目別解説 (工程別総合原価計算、組別・等級別総合原価計算)	鈴木 秀俊
第9回	商業簿記問題 解説 演習答練 第9回 (仕訳、商品売買、損益計算書・貸借対照表)	穴戸 雄翔
第10回	商業簿記問題 解説 演習答練 第10回 (仕訳、リース会計、精算表)	穴戸 雄翔
第11回	答練期問題集項目別解説 (標準原価計算、CVP分析)	鈴木 秀俊
第12回	商業簿記問題 解説 演習答練 第11回、第12回 (仕訳、伝票会計、残高試算表、精算表)	穴戸 雄翔
第13回	答練期問題集項目別解説 (直接・全部原価計算、固定費調整)	鈴木 秀俊
第14回	商業簿記問題 解説 演習答練 第13回 (仕訳、外貨建て、残高試算表)	穴戸 雄翔
第15回	商業簿記問題 解説 演習答練 第14回 (仕訳、語句記入、サービス業の損益計算書)	穴戸 雄翔
第16回	答練期問題集項目別解説 (工場会計、公企業の財務諸表)	鈴木 秀俊
第17回	商業簿記問題 解説 演習答練 第15回 (仕訳、株主資本等変動計算書、連結精算表)	穴戸 雄翔
第18回	商業簿記オリジナル問題 解説 (仕訳、連結会計、損益計算書)	穴戸 雄翔
第19回	統一模擬試験	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 演習問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 演習問題編 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題 (学校法人 大原学園) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 問題編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問 解答編 (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会)</p>
<p>備考</p>	<p>19回統一模擬試験のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記2級IIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級III	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位	
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	19回	
		成績評価方法	筆記試験	: 50 %
			ミニテスト	: 30 %
			平常点	: 20 %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %	
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級II」で履修した内容を前提とし、数多くの問題を科目教員と共に解答し、解答のテクニックを習得する。そして、中小企業の実務における各取引の会計処理ができることを目的とする。また、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	5伝票制、特殊仕訳帳制	穴戸 雄翔		
第2回	答練期問題集項目別解説（材料費会計、労務費会計）	鈴木 秀俊		
第3回	為替手形、荷為替手形、商品券（自社）	穴戸 雄翔		
第4回	答練期問題集項目別解説（経費会計、製造間接費会計）	鈴木 秀俊		
第5回	有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）	穴戸 雄翔		
第6回	答練期問題集項目別解説（部門別計算）	鈴木 秀俊		
第7回	特殊商品売買、履行義務の充足	穴戸 雄翔		

第8回	答練期問題集項目別解説（個別原価計算、総合原価計算）	鈴木 秀俊
第9回	圧縮記帳、投資不動産	穴戸 雄翔
第10回	答練期問題集項目別解説 （工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算）	鈴木 秀俊
第11回	資産除去債務	穴戸 雄翔
第12回	答練期問題集項目別解説（標準原価計算、CVP分析）	鈴木 秀俊
第13回	固定資産の減損	穴戸 雄翔
第14回	答練期問題集項目別解説（直接原価計算、全部原価計算、固定費調整）	鈴木 秀俊
第15回	負ののれん発生益、社債	穴戸 雄翔
第16回	答練期問題集項目別解説（工場会計、公企業の財務諸表）	鈴木 秀俊
第17回	商業簿記・会計学 理論対策	穴戸 雄翔
第18回	財務諸表分析	穴戸 雄翔
第19回	統一模擬試験	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	簿記は日々の復習の積み重ねが重要。難易度の高い範囲も含まれていることから、分からないところは質問し、問題集等で繰り返し復習を行うこと。また、毎回の授業の始めに前回の授業範囲から確認テストを実施する。予習は不要。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記能力検定試験公式テキスト 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・財務会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期問題集 項目別編 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 簿記2級受験用 答練期解答集 項目別編 (学校法人 大原学園) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 原価計算・管理会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>
<p>備考</p>	<p>19回統一模擬試験のみ3時間講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場 合がある。 日商簿記2級Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級演習 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級I」及び「日商簿記2級II」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、日本商工会議所主催簿記検定試験2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 直前模擬試験 第1回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第2回	直前模擬試験 第2回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第3回	弱点克服問題演習①	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第4回	直前模擬試験 第3回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第5回	直前模擬試験 第4回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第6回	直前模擬試験 第5回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第7回	直前模擬試験 第6回 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

第8回	弱点克服問題演習②	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第9回	弱点克服問題演習③	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第10回	最終確認問題 演習・解説 総論	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 日商簿記2級 過去問分析より徹底予想! 試験に出る問題集 (大原出版) 簿記能力検定試験 過去問題集 商業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題(学校法人 大原学園) 2級商業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (問題編) (学校法人 大原学園) ESSENTIAL 日商簿記過去問題 (解答編) (学校法人 大原学園) 簿記能力検定試験 過去問題集 工業簿記 (一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 問題(学校法人 大原学園) 2級工業簿記 基礎期 模擬試験①～⑥ 解答・解説(学校法人 大原学園)</p> <p>【共通】 2026年度 日商簿記検定対策 直前模擬試験 第1回～第6回 (学校法人 大原学園) 2026年度試験あてるTAC予想模試+解き方テキスト 日商簿記2級 (TAC出版)</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記2級演習Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。	

学科		情報ビジネス学科（3年課程）	
学年		1 学年	
科目名	日商簿記2級演習II	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級II」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級（以下、「全経簿記1級」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	ガイダンス 全経簿記1級演習、5伝票制、特殊仕訳帳制、 為替手形、荷為替手形、商品券（自社）		穴戸 雄翔
第2回	理論対策① (費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算)		鈴木 秀俊
第3回	全経簿記1級演習 有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）特殊商品売買、履行義務の充足		穴戸 雄翔
第4回	理論対策② (部門別原価計算、総合原価計算)		鈴木 秀俊
第5回	全経簿記1級演習 圧縮記帳（積立金方式）、投資不動産、資産除去債務		穴戸 雄翔
第6回	理論対策③ (標準原価計算)		鈴木 秀俊
第7回	全経簿記1級演習 固定資産の減損、負ののれん発生益		穴戸 雄翔

第8回	理論対策④ (短期利益計画、工場独立会計)	鈴木 秀俊
第9回	全経簿記1級演習 社債、理論、財務諸表分析	穴戸 雄翔
第10回	理論対策⑤ (直接原価計算、全部原価計算) 総論	鈴木 秀俊
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記能力検定試験公式テキスト 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版)</p> <p>全経簿記能力検定試験公式問題集 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集1級 商業簿記・財務会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集1級 原価計算・管理会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記2級演習Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。	

学科		情報ビジネス学科（3年課程）	
学年		1 学年	
科目名	日商簿記2級演習Ⅲ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級演習Ⅱ」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	ガイダンス 項目別対策 5伝票制、特殊仕訳帳制、為替手形、荷為替手形、商品券（自社）		穴戸 雄翔
第2回	過去試験項目対策 （費目別計算、個別原価計算）		鈴木 秀俊
第3回	項目別対策 有価証券（貸付・借入・差入・預り・保管）特殊商品売買、履行義務の充足		穴戸 雄翔
第4回	過去試験項目対策 （部門別原価計算、総合原価計算）		鈴木 秀俊
第5回	項目別対策 圧縮記帳（積立金方式）、投資不動産、資産除去債務		穴戸 雄翔
第6回	過去試験項目対策 （総合原価計算、標準原価計算）		鈴木 秀俊
第7回	項目別対策 固定資産の減損、負ののれん発生益		穴戸 雄翔

第8回	過去試験項目対策 (CVP分析、工場独立会計)	鈴木 秀俊
第9回	項目別対策 社債、理論、財務諸表分析	穴戸 雄翔
第10回	過去試験項目対策 (直接原価計算、全部原価計算)総論	鈴木 秀俊
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記能力検定試験公式テキスト 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版)</p> <p>全経簿記能力検定試験公式問題集 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集1級 商業簿記・財務会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集1級 原価計算・管理会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記2級演習Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	日商簿記2級演習IV	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「日商簿記2級演習III」を前提とし、数多くの問題を解いていく。その過程で、問題の内容を把握する読解力を養うことや、解法が1つではないことから正答を導き出すため自ら考え、判断する力を養成する。なお、全国経理教育協会主催簿記能力検定試験1級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	ガイダンス 第221回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第2回	第220回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第3回	第219回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第4回	第218回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第5回	第217回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第6回	第216回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第7回	第215回過去問題 演習・解説		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

第8回	第214回過去問題 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第9回	第213回過去問題 演習・解説	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第10回	第212回過去問題 演習・解説 総論	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	毎回の問題演習を本試験と考え緊張感を持って挑むこと。間違った問題・論点の復習を徹底する。不明な点は科目教員に質問・相談すること。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記】 ALFA 2級商業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級商業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記能力検定試験公式テキスト 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版)</p> <p>全経簿記能力検定試験公式問題集 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) ステップアップ問題集 日商簿記2級商業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集1級 商業簿記・財務会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【工業簿記】 ALFA 2級工業簿記 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 2級工業簿記 解答集 (学校法人 大原学園) ステップアップ問題集 日商簿記2級工業簿記 (大原出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集1級 原価計算・管理会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 日商簿記2級演習Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義、試験でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニングⅠ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、久保田 佳子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」に積極的に取り組めるようにすること。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子	
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子	
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子	
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子	
第5回	リスク管理 （リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子	

第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子
第7回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子
第8回	タックスプランニング（課税標準の計算、所得控除）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子
第9回	タックスプランニング（税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子
第10回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	工藤 英一 中島 京哉 久保田 佳子
準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版） モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニングⅠは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）	
		学年	1 学年	
科目名	ファイナンシャル・プランニングⅡ	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無			単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子、中島 京哉	授業回数	10回	
		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
				: %
科目教員のうち実務経験教員			: %	
			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	ガイダンス 科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」確認講義			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉

第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
準備学習等	<p>予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。</p> <p>なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニングⅠ」の理解度確認を実施する。</p>	
教科書 参考書等	<p>ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版）</p> <p>ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版）</p> <p>モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニングⅡは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	ファイナンシャル・プランニング演習		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	2単位
				授業回数	15回
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子、中島 京哉		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニングⅡ」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP検定」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP検定3級に合格することを到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	問題演習・解説 学科編①（ライフプランニングと資金計画）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉	
第2回	問題演習・解説 学科編②（リスク管理）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉	
第3回	問題演習・解説 学科編③（金融資産運用）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉	
第4回	問題演習・解説 学科編④（タックスプランニング）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉	
第5回	問題演習・解説 学科編⑤（不動産、相続・事業承継）			工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉	

第6回	問題演習・解説 実技編①	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第7回	問題演習・解説 実技編②	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第8回	過去試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第9回	過去試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第10回	過去試験問題 演習・解説③	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第11回	過去試験問題 演習・解説④	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第12回	過去試験問題 演習・解説⑤	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第13回	過去試験問題 演習・解説⑥	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第14回	模擬試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
第15回	模擬試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子 中島 京哉
準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト (大原出版) ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題 (大原出版) ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集問題編 (学校法人 大原学園) ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集解答編 (学校法人 大原学園) ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級学科模擬試験 (学校法人 大原学園) 3級FP技能検定 学科模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園) ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級実技模擬試験 (学校法人 大原学園) 3級FP技能検定 実技模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園) モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャル・プランナーとは、お金の知識を総合的に身につけて、ライフプランの実現に向けたアドバイスをする専門家である。年金・保険・不動産・金融資産・税金・相続など、様々な種類のお金の知識が必要不可欠となる。それぞれの内容を理解することを目的とし、本講義終了後の科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ」に積極的に取り組めるようにすること。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング）	工藤 英一 久保田 佳子	
第2回	ライフプランニングと資金計画（教育・住宅取得資金計画）	工藤 英一 久保田 佳子	
第3回	ライフプランニングと資金計画 （社会保険、公的年金制度の概要、老後の生活資金計画と公的年金）	工藤 英一 久保田 佳子	
第4回	ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方）	工藤 英一 久保田 佳子	
第5回	リスク管理 （リスクマネジメント、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容、損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容）	工藤 英一 久保田 佳子	
第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式、投資信託）	工藤 英一 久保田 佳子	
第7回	タックスプランニング （税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	工藤 英一 久保田 佳子	

第8回	タックスプランニング（課税標準の計算、所得控除）	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	タックスプランニング（税額控除、確定申告、個人住民税と個人事業税）	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限）	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	<p>【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級 練習問題（大原出版）</p> <p>【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版）</p> <p>【共通】 モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))</p>	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

学科		情報ビジネス学科（3年課程）	
学年		1 学年	
科目名	ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	10回
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」を前提に、さらに幅広い知識を学習する。自己のライフプラン（キャッシュフローの作成）ができることを目的とし、最終的には日本FP協会主催2級または3級ファイナンシャル・プランニング技能検定に合格することを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	ガイダンス 科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」確認講義		工藤 英一 久保田 佳子
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金における障害給付と遺族給付）		工藤 英一 久保田 佳子
第3回	リスク管理（個人・法人の契約に関する税金）		工藤 英一 久保田 佳子
第4回	リスク管理（第三分野の保険・共済）		工藤 英一 久保田 佳子
第5回	金融資産運用（外貨建て商品、金融派生商品、ポートフォリオ運用）		工藤 英一 久保田 佳子
第6回	金融資産運用（金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）		工藤 英一 久保田 佳子
第7回	不動産（不動産に係る税金、不動産の有効活用）		工藤 英一 久保田 佳子

第8回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律）	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	相続・事業承継（贈与税と税金、相続と税金）	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	相続・事業承継（財産の評価、相続対策）	工藤 英一 久保田 佳子
準備学習等	<p>予習の必要はない。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。</p> <p>なお、ガイダンス終了後、科目「ファイナンシャル・プランニング応用Ⅰ」の理解度確認を実施する。</p>	
教科書 参考書等	<p>【2級】 ファイナンシャル・プランナー2級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー2級 練習問題（大原出版）</p> <p>【3級】 ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題（大原出版）</p> <p>【共通】 モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング応用Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）	
		学年	1 学年	
科目名	ファイナンシャル・プランニング応用演習	授業形態	演習	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位	
		授業回数	15回	
科目教員	工藤 英一、久保田 佳子	成績評価方法	筆記試験	: 70 %
			平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員				: %
				: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容				
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	科目「ファイナンシャル・プランニング応用II」を前提とし、日本FP協会主催3級ファイナンシャル・プランニング技能検定（以下、「FP検定」という。）の問題演習を行う。数多くの問題を解くことで、知識の定着を図ることを目的とする。また、FP検定2級または3級に合格することを到達目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	問題演習・解説 学科編①（ライフプランニングと資金計画）			工藤 英一 久保田 佳子
第2回	問題演習・解説 学科編②（リスク管理）			工藤 英一 久保田 佳子
第3回	問題演習・解説 学科編③（金融資産運用）			工藤 英一 久保田 佳子
第4回	問題演習・解説 学科編④（タックスプランニング）			工藤 英一 久保田 佳子
第5回	問題演習・解説 学科編⑤（不動産、相続・事業承継）			工藤 英一 久保田 佳子
第6回	問題演習・解説 実技編①			工藤 英一 久保田 佳子
第7回	問題演習・解説 実技編②			工藤 英一 久保田 佳子

第8回	過去試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子
第9回	過去試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子
第10回	過去試験問題 演習・解説③	工藤 英一 久保田 佳子
第11回	過去試験問題 演習・解説④	工藤 英一 久保田 佳子
第12回	過去試験問題 演習・解説⑤	工藤 英一 久保田 佳子
第13回	過去試験問題 演習・解説⑥	工藤 英一 久保田 佳子
第14回	模擬試験問題 演習・解説①	工藤 英一 久保田 佳子
第15回	模擬試験問題 演習・解説②	工藤 英一 久保田 佳子

準備学習等	予習の必要はない。不明な点は科目教員に質問をして、次回の講義に備えること。
-------	---------------------------------------

教科書 参考書等	<p>【3級】</p> <p>ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト (大原出版)</p> <p>ファイナンシャル・プランナー3級 練習問題 (大原出版)</p> <p>ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集問題編 (学校法人 大原学園)</p> <p>ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集解答編 (学校法人 大原学園)</p> <p>ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級学科模擬試験 (学校法人 大原学園)</p> <p>3級FP技能検定 学科模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級実技模擬試験 (学校法人 大原学園)</p> <p>3級FP技能検定 実技模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>【2級】</p> <p>ファイナンシャル・プランナー2級 テキスト (大原出版)</p> <p>ファイナンシャル・プランナー2級 練習問題 (大原出版)</p> <p>ファイナンシャル・プランナー2級 学科・実技過去試験問題集問題編 (学校法人 大原学園)</p> <p>ファイナンシャル・プランナー2級 学科・実技過去試験問題集解答編 (学校法人 大原学園)</p> <p>ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級学科模擬試験 (学校法人 大原学園)</p> <p>2級FP技能検定 学科模擬試験 解答・解説 (学校法人 大原学園)</p> <p>ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級実技模擬試験 (学校法人 大原学園)</p>
-------------	--

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。ファイナンシャル・プランニング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>
----	--

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	経理実務	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	6単位
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	30回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	<p>経理知識や技能の証明となり就職活動にも有利になる資格「経理実務士」の取得を目指し、認定要件である資格のうち、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）の合格を目指す。計算実務では経理職に欠かせない知識である帳票計算と商業計算について学習する。全経簿記では中小企業の実務における各取引の会計処理について学習する。</p> <p>本講義終了後の科目「経理実務演習」に積極的に取り組めるようにすること。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	【計算実務】＜帳票計算＞ 試算表、商品有高帳（先入先出法、移動平均法）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	
第2回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引料を求める場合、手取金を求める場合、手形金額を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	
第3回	【計算実務】 ＜帳票計算・商業計算＞項目別確認問題実施、解説 （試算表、商品有高帳、貨幣計算、手形割引計算）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	
第4回	【計算実務】＜商業計算＞ 通法の計算～グロス・ダース・個～（代価を求める場合、数量を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	
第5回	【計算実務】＜商業計算＞ 仲立人の手数料計算（手数料を求める場合、買主の支払総額・売主の手取金を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔	

第6回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（通法の計算、仲立人の手数料計算）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第7回	【計算実務】＜商業計算＞ 貨幣計算、手形割引計算（割引率を求める場合、割引日数を求める場合、割引日を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第8回	【計算実務】＜商業計算＞ 商品売買の計算（定価を求める場合、利益率を求める場合、原価を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第9回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（貨幣計算、手形割引計算、商品売買の計算）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第10回	【計算実務】＜商業計算＞ 委託販売・委託買付の手数料計算（売上高を求める場合、送金額を求める場合、請求額を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第11回	【計算実務】＜商業計算＞ 金銭の貸し付け（貸付利率を求める場合、元利合計を求める場合、貸付期間を求める場合）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第12回	【計算実務】＜商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（委託販売・委託買付の手数料計算、金銭の貸し付け）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第13回	【計算実務】＜商業計算＞ 純量代価（総量、風袋、減量の用語の確認、定価の求め方）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第14回	【計算実務】＜商業計算＞ 有利・不利の判定（値引きと増量）、通法の計算（文章問題）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第15回	【計算実務】＜帳票計算・商業計算＞ 項目別確認問題実施、解説（純量代価の計算、有利・不利の判定、通法の計算）、伝票計算（検定試験問題の解き方）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第16回	【全経簿記】 5伝票制、特殊仕訳帳制	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第17回	【全経簿記】 材料費会計、労務費会計	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第18回	【全経簿記】 為替手形、荷為替手形、商品券（自社）、有価証券売買	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第19回	【全経簿記】 経費会計、製造間接費会計	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第20回	【全経簿記】 特殊商品売買、履行義務の充足	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第21回	【全経簿記】 部門別計算、個別原価計算、単純総合原価計算	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

第22回	【全経簿記】 圧縮記帳、投資不動産	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第23回	【全経簿記】 工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第24回	【全経簿記】 資産除去債務、固定資産の減損	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第25回	【全経簿記】 標準原価計算、CVP分析	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第26回	【全経簿記】 負ののれん発生益、社債	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第27回	【全経簿記】 直接原価計算、全部原価計算、固定費調整	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第28回	【全経簿記】 理論問題対策	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第29回	【全経簿記】 工場会計の独立	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第30回	【全経簿記】 財務諸表分析	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

準備学習等	計算実務・全経簿記ともに短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。なお、予習は不要。
-------	---

教科書 参考書等	<p>【計算実務】</p> <p>計算実務1・2級 公式テキスト (共栄出版株式会社) 令和8年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集1級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>令和8年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集2級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【全経簿記】</p> <p>全経簿記能力検定試験公式テキスト 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版)</p> <p>全経簿記能力検定試験公式問題集 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・財務会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 原価計算・管理会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【共通】</p> <p>モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>
-------------	--

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>経理実務は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>
----	---

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	経理実務演習	授業形態	
		演習	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	鈴木 秀俊、穴戸 雄翔	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験
平常点	: 30 %		
	: %		
	: %		
科目教員のうち実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>「経理実務」で学習した基礎的な知識を基に、問題演習を通して本試験に対応できる能力を養うことを目的とする。また、項目別に問題演習を行うことで重要度の高い範囲をもう一度確認し、より知識を深める。なお、全国経理教育協会主催計算実務能力検定試験（以下、「計算実務」という。）と全国経理教育協会主催簿記能力検定試験（以下、「全経簿記」という。）に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説①		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第2回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説②		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第3回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説③		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第4回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説④ 項目別対策（手形割引計算）		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第5回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説⑤ 項目別対策（商品売買の計算）		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第6回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説⑥ 項目別対策（委託販売・委託買付の手数料計算、金銭の貸し付け）		鈴木 秀俊 穴戸 雄翔

第7回	【計算実務】 過去問題 問題演習、解説⑦ 項目別対策（仲立人の手数料計算）	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第8回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説①	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第9回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説②	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第10回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説③	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第11回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説④	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第12回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説⑤	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第13回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説⑥	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第14回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説⑦	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
第15回	【全経簿記】 過去問題 問題演習・解説⑧	鈴木 秀俊 穴戸 雄翔
準備学習等	日々の問題のやり直しを丁寧に行うことが何よりも大切。間違った問題は全て確認し、わからないことがある場合には科目教員に確認するようにすること。また、問題演習を通して苦手項目が明らかになった場合には、その項目を重点的に復習すること。	

<p>教科書 参考書等</p>	<p>【計算実務】 計算実務1・2級 公式テキスト (共栄出版株式会社) 令和8年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集1級 (公益社団法人 全国経理教育協会) 令和8年度版 計算実務能力検定試験 過去問題集2級 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【全経簿記】 全経簿記能力検定試験公式テキスト 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 全経簿記能力検定試験公式問題集 1級商業簿記・財務会計 (ネットスクール出版) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 商業簿記・財務会計 (公益社団法人 全国経理教育協会) 令和8年度版 簿記能力検定試験 過去問題集 1級 原価計算・管理会計 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p> <p>【共通】 モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>
<p>備考</p>	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>経理実務演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>

学科		情報ビジネス学科 (3年課程)	
学年		1 学年	
科目名	宅地建物取引士入門	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	13回
科目教員	竹村 幸生	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			授業態度 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>不動産の取引に関連する代表的な法律(民法や宅地建物取引業法 (以下、「宅建業法」という。))の基礎を理解してもらうことを目的とする。民法では、意思表示、代理、売買、時効 (取得時効)、対抗要件について学習する。宅建業法では、免許、宅地建物取引士、8種制限、媒介契約について学習する。その上で、本講義終了後の科目「宅地建物取引士Ⅰ」に積極的に取り組めるようにする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス、【民法】意思表示	竹村 幸生	
第2回	【民法】代理	竹村 幸生	
第3回	【民法】売買	竹村 幸生	
第4回	【民法】時効 (取得時効)	竹村 幸生	
第5回	【民法】対抗要件	竹村 幸生	
第6回	【民法】債権の消滅・譲渡	竹村 幸生	
第7回	【宅建業法】免許	竹村 幸生	

第8回	【宅建業法】宅地建物取引士	竹村 幸生
第9回	【宅建業法】8種制限①	竹村 幸生
第10回	【宅建業法】8種制限②	竹村 幸生
第11回	【宅建業法】媒介契約①	竹村 幸生
第12回	【宅建業法】媒介契約②	竹村 幸生
第13回	定例試験	竹村 幸生
準備学習等	予習の必要はない。法律を学ぶことになるため、不明な点は科目教員に質問をし、復習をしっかりと行い、次回の講義に備えること。	
教科書 参考書等	入門講義 権利関係・宅建業法 テキスト（学校法人 大原学園） 入門講義 権利関係・宅建業法 トレーニング問題集（学校法人 大原学園）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 宅地建物取引士入門は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅰ	授業形態	講義	
		選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位	
科目教員	竹村 幸生	授業回数	13回	
		成績 評価 方法	筆記試験	: 40 %
			ミニテスト	: 40 %
			授業態度	: 20 %
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			: %	
実務経験教員の 実務経験内容				
授業目的 到達目標	宅地や建物の売買・賃貸等を取り扱う不動産業者が不正をしないよう規制する法律（宅地建物取引業法）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。不動産取引の種類に応じて必要となる法律が選別できること、宅地建物取引士資格試験に出題される宅地建物取引業法の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。			
授業計画				
回数	授業内容	科目教員		
第1回	ガイダンス、宅建業法(宅地建物取引業)	竹村 幸生		
第2回	宅建業法(免許)	竹村 幸生		
第3回	宅建業法(営業保証金)	竹村 幸生		
第4回	宅建業法(保証協会)	竹村 幸生		
第5回	宅建業法(宅地建物取引士)	竹村 幸生		
第6回	宅建業法(業務を行う場所に関する規制)	竹村 幸生		
第7回	宅建業法(8種制限)	竹村 幸生		

第8回	宅建業法(一般的業務規制／取引態様の明示)	竹村 幸生
第9回	宅建業法(媒介契約)	竹村 幸生
第10回	宅建業法(重要事項の説明等／供託所等に関する説明)	竹村 幸生
第11回	宅建業法 (契約書面の交付・報酬)	竹村 幸生
第12回	宅建業法 (監督・罰則・住宅瑕疵担保履行法)	竹村 幸生
第13回	宅建業法 (定例試験)	竹村 幸生
準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。	
教科書 参考書等	基礎講義 宅建業法テキスト (学校法人 大原学園) 宅建業法トレーニング問題集 (学校法人 大原学園)	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅱ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	竹村 幸生	授業回数	13回
		成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
実務経験教員の授業内容			: %
実務経験教員の授業内容			
授業目的到達目標	<p>売買契約や賃貸借契約等に関する法律、契約から発生する権利・義務に関する法律（民法、借地借家法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。特に不動産取引においては不利益を被る可能性の高い買主や借主の立場となり、その権利を守るための考え方ができるようになること、宅地建物取引士資格試験に出題される権利関係の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	権利関係(民法－総則Ⅰ【制限行為能力者／法律行為・意思表示の有効性／取消及び追認】)	竹村 幸生	
第2回	権利関係(民法－総則Ⅱ【代理、時効】)	竹村 幸生	
第3回	権利関係(民法－物権【不動産物件の対抗要件（登記）／共有／抵当権】)	竹村 幸生	
第4回	権利関係(民法－債権総論Ⅰ【債権の発生・消滅・譲渡】)	竹村 幸生	
第5回	権利関係(民法－債権総論Ⅱ【債務不履行／危険負担・受領地帯】)	竹村 幸生	
第6回	権利関係(民法－債権総論Ⅲ【連帯債務／保証債務】)	竹村 幸生	
第7回	権利関係(民法－債権各論Ⅰ【売買／請負】)	竹村 幸生	

第8回	権利関係(民法－債権各論Ⅱ【賃借権／使用貸借】)	竹村 幸生
第9回	権利関係(民法－債権各論Ⅲ【委任／不法行為】)	竹村 幸生
第10回	権利関係(民法－相続)	竹村 幸生
第11回	権利関係(借地借家法Ⅰ【借地】・借地借家法Ⅱ【借家】)	竹村 幸生
第12回	権利関係(区分所有法・不動産登記法)	竹村 幸生
第13回	権利関係(定例試験)	竹村 幸生
準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。	
教科書 参考書等	基礎講義 権利関係テキスト (学校法人 大原学園) 権利関係トレーニング問題集 (学校法人 大原学園)	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅱは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅲ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	竹村 幸生	授業回数	13回
		成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			: %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			: %
実務経験教員の実務経験内容			: %
授業目的到達目標	土地の利用方法や土地の区域により建築できる建物の種類に関する法律（都市計画法、建築基準法等）を基礎から学び理解してもらうことを目的とする。実際に不動産取引の買主または借主の立場となった際に不利益を被ることのないよう法律の内容を理解すること、宅地建物取引士資格試験に出題される法令上の制限の問題が解答できる知識を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	法令上の制限(都市計画法Ⅰ【都市計画区域の指定～都市計画の決定】)	竹村 幸生	
第2回	法令上の制限(都市計画法Ⅱ【開発行為の規制等】)	竹村 幸生	
第3回	法令上の制限(建築基準法Ⅰ【建築確認等／単体規定】)	竹村 幸生	
第4回	法令上の制限(建築基準法Ⅱ【集団規定／建築協定】)	竹村 幸生	
第5回	法令上の制限(国土利用計画法)	竹村 幸生	
第6回	法令上の制限(宅地造成及び特定盛土等規制法)	竹村 幸生	
第7回	法令上の制限(農地法)	竹村 幸生	

第8回	法令上の制限(土地区画整理法)	竹村 幸生
第9回	法令上の制限(所得税・登録免許税・印紙税【国税】)	竹村 幸生
第10回	法令上の制限(不動産取得税・固定資産税【地方税】)	竹村 幸生
第11回	法令上の制限(不動産の鑑定評価・地価公示法)	竹村 幸生
第12回	法令上の制限(景品表示法・住宅金融支援機構・土地・建物)	竹村 幸生
第13回	法令上の制限(定例試験)	竹村 幸生
準備学習等	学習する内容が多岐にわたり、日々新たな法律の理解を積み重ねていくこととなる。予習の必要はないが、講義で学んだ内容について、特にテキストを再読し、トレーニング問題集を複数回解き込むことにより、難解な法律であってもその読解力が身につく。復習を欠かさずに実施すること。	
教科書 参考書等	基礎講義 法令上の制限テキスト (学校法人 大原学園) 法令上の制限トレーニング問題集 (学校法人 大原学園)	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。 宅地建物取引士Ⅲは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	宅地建物取引士Ⅳ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	竹村 幸生	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			授業態度 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	宅地建物取引士Ⅰ～Ⅲのまとめとして宅地建物取引業法、権利関係、法令上の制限の各種法律の相関関係を把握し、体系的な理解と知識の定着を図ることを目的とする。過去に宅地建物取引士資格試験に出題された問題を解答することができ、宅地建物取引士資格試験に合格できる知識を身につけることを到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	総まとめ問題①（宅地建物取引業法）	竹村 幸生	
第2回	総まとめ問題②（権利関係）	竹村 幸生	
第3回	総まとめ問題③（法令上の制限）	竹村 幸生	
第4回	総まとめ問題④（税・その他）	竹村 幸生	
第5回	全国統一公開模擬試験（演習と解説）	竹村 幸生	
第6回	直前模擬試験（演習と解説）	竹村 幸生	
第7回	過去試験問題演習（令和4年度）	竹村 幸生	

第8回	過去試験問題演習（令和5年度）	竹村 幸生
第9回	過去試験問題演習（令和6年度）	竹村 幸生
第10回	過去試験問題演習（令和7年度）	竹村 幸生
準備学習等	宅建物取引士Ⅰ～Ⅲで履修した内容を網羅的に確認しますので、事前に各種法律の内容をテキストで復習したうえで講義に臨んでください。	
教科書 参考書等	基礎講義 宅建業法テキスト（学校法人 大原学園） 基礎講義 権利関係テキスト（学校法人 大原学園） 基礎講義 法令上の制限テキスト（学校法人 大原学園）	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 宅地建物取引士Ⅳは、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	文書処理技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
科目教員	菊地 裕美	授業回数	14回
		成績評価方法	実技試験 : 50 %
			知識試験 : 30 %
			平常点 : 20 %
科目教員のうち 実務経験教員	菊地 裕美		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Microsoft Wordの操作方法		
実務経験教員の 実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生を含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、簡単なビジネス文書を作成できるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス	菊地 裕美	
第2回	キーボードの打ち分け方法 Wordの画面構成 フォルダ管理 タイピング練習	菊地 裕美	
第3回	3級問題集練習問題、解説1	菊地 裕美	
第4回	3級問題集練習問題、解説2	菊地 裕美	
第5回	3級問題集練習問題、解説3	菊地 裕美	
第6回	3級問題集模擬問題 解説1・2	菊地 裕美	
第7回	3級問題集模擬問題 解説3・4	菊地 裕美	

第8回	3級問題集模擬問題 解説5・6	菊地 裕美
第9回	3級問題集模擬問題 解説7	菊地 裕美
第10回	3級問題集模擬試験、解説	菊地 裕美
第11回	サンプル問題 採点	菊地 裕美
第12回	直前模擬問題、解説①	菊地 裕美
第13回	直前模擬問題、解説②	菊地 裕美
第14回	直前模擬問題、解説③	菊地 裕美
準備学習等	Word文書処理認定試験3級を取得できるようにするため、検定試験と類似の問題を準備し、多くの問題に携わることで授業内容の理解を深める。	
教科書 参考書等	サーティファイ 文書処理技能認定試験 Word3級問題集 (株式会社サーティファイ)	
備考	<p>PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。文書処理技能は、各学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>ガイダンスは1時間の講義となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	プレゼンテーション技能	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
科目教員	菊地 裕美	授業回数	14回
		成績評価方法	実技試験 : 50 %
			知識試験 : 30 %
			平常点 : 20 %
科目教員のうち 実務経験教員	菊地 裕美		: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Microsoft PowerPointの操作方法		
実務経験教員の 実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて基礎的な技能を習得し、会議や講演などでプレゼンテーションを行うときに必要な資料作成ができるようにする。また、タイピングソフトを使い、入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス	菊地 裕美	
第2回	プレゼンテーション概論、 フォルダ管理、 タイピング練習	菊地 裕美	
第3回	PPT画面構成、 プレゼンテーションの構成	菊地 裕美	
第4回	初級問題集 練習問題、解説1	菊地 裕美	
第5回	初級問題集 練習問題、解説2	菊地 裕美	
第6回	初級問題集 練習問題、解説3	菊地 裕美	
第7回	初級問題集 模擬問題、解説1	菊地 裕美	

第8回	初級問題集 模擬問題、解説2	菊地 裕美
第9回	初級問題集 模擬問題、解説3	菊地 裕美
第10回	模擬試験問題、解説 採点の仕方レクチャー	菊地 裕美
第11回	サンプル問題、解説	菊地 裕美
第12回	直前模擬問題、解説①	菊地 裕美
第13回	直前模擬問題、解説②	菊地 裕美
第14回	直前模擬問題、解説③	菊地 裕美
準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。	
教科書 参考書等	クイックマスター（株式会社ウイネット） プレゼンテーション問題集（株式会社サーティファイ）	
備考	PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。 ガイダンスは1時間の講義となる。 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。プレゼンテーション技能は、各学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	マーケティング基礎		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	4単位
				授業回数	20回
科目教員	中島 京哉		成績評価方法	筆記試験	: 50 %
				ミニテスト	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員				授業態度	: 20 %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	将来、販売士・営業職を希望する学生を対象に、小売店舗を運営するための基本的な仕組み、インターネットを活用したマーケティング戦略を学ぶことを目的とし、サーティファイ主催ネットマーケティング検定に合格できる能力を身につけることを目標としています。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	ガイダンス インターネットマーケティングを行うにあたって				中島 京哉
第2回	インターネット技術概論				中島 京哉
第3回	インターネットマーケティングの個別手法				中島 京哉
第4回	インターネットリサーチ				中島 京哉
第5回	プロモーション				中島 京哉
第6回	インターネット広告				中島 京哉
第7回	インターネットを利用した販売				中島 京哉

第8回	効果測定	中島 京哉
第9回	外注管理	中島 京哉
第10回	各種ポリシー	中島 京哉
第11回	関連法規①	中島 京哉
第12回	関連法規②	中島 京哉
第13回	インターネットを利用した販とコンプライアンス、CSR	中島 京哉
第14回	事例問題対策①	中島 京哉
第15回	事例問題対策②	中島 京哉
第16回	過去問題演習・解説①	中島 京哉
第17回	過去問題演習・解説②	中島 京哉
第18回	過去問題演習・解説③	中島 京哉
第19回	過去問題演習・解説④	中島 京哉
第20回	過去問題演習・解説⑤	中島 京哉
準備学習等	<p>毎回の授業の始めに確認テストを実施し、前回の授業範囲が理解できているか確認を行う。</p> <p>確認テストを解答できるよう、毎日の授業の復習を怠らないようにすること。</p>	
教科書 参考書等	<p>ネットマーケティング検定公式テキスト インターネットマーケティング 基礎編 (株式会社インプレス)</p> <p>ネットマーケティング検定 過去問題集 (株式会社ウィネット)</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。マーケティング基礎は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授 業となる。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	リテールマーケティング基礎Ⅰ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、山下 健二		授業回数	20回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。				
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。				
授業目的 到達目標	流通・小売業で必要な基礎知識・技能を理解し、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。授業内容の理解を到達目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	小売業の類型 流通における小売業の基本			工藤 英一 中島 京哉	
第2回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本①			工藤 英一 中島 京哉	
第3回	小売業の類型 組織形態別小売業の基本②			工藤 英一 中島 京哉	
第4回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割			工藤 英一 中島 京哉	
第5回	マーチャンダイジング 商品の基本			山下 健二	
第6回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの基本			山下 健二	
第7回	マーチャンダイジング 商品計画の基本			山下 健二	

第8回	マーチャンダイジング 販売計画および仕入計画などの基本	山下 健二
第9回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本①	工藤 英一 中島 京哉
第10回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本②	工藤 英一 中島 京哉
第11回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本③	工藤 英一 中島 京哉
第12回	ストアオペレーション ストアオペレーションの基本④	工藤 英一 中島 京哉
第13回	マーケティング 小売業のマーケティングの基本	工藤 英一 中島 京哉
第14回	マーケティング 顧客満足経営の基本	工藤 英一 中島 京哉
第15回	マーケティング 商圈の設定と出店の基本①	工藤 英一 中島 京哉
第16回	マーケティング 商圈の設定と出店の基本②	工藤 英一 中島 京哉
第17回	販売・経営管理 販売員の役割の基本	工藤 英一 中島 京哉
第18回	販売・経営管理 販売員の法令知識①	工藤 英一 中島 京哉
第19回	販売・経営管理 販売員の法令知識②	工藤 英一 中島 京哉
第20回	販売・経営管理 小売業の計数管理	工藤 英一 中島 京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士ハンドブック3級 上巻・下巻（カリアック） 販売士3級模擬問題集（カリアック） モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 リテールマーケティング基礎Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	リテールマーケティング基礎Ⅱ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、山下 健二		授業回数	20回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。				
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。				
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」を前提に、流通・小売業に必要な知識を深め、販売担当として必要な知識・技術を学習することを目的とする。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級取得を目指す。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割①			工藤 英一 中島 京哉	
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の基本的役割②			工藤 英一 中島 京哉	
第3回	小売業の類型 商業集積の基本			工藤 英一 中島 京哉	
第4回	小売業の類型 総合問題演習			工藤 英一 中島 京哉	
第5回	マーチャンダイジング 価格設定の基本			山下 健二	
第6回	マーチャンダイジング 在庫管理の基本			山下 健二	
第7回	マーチャンダイジング 販売管理の基本			山下 健二	

第8回	マーチャンダイジング 総合問題演習	山下 健二
第9回	ストアオペレーション ディスプレイの基本①	工藤 英一 中島 京哉
第10回	ストアオペレーション ディスプレイの基本②	工藤 英一 中島 京哉
第11回	ストアオペレーション ディスプレイの基本③	工藤 英一 中島 京哉
第12回	ストアオペレーション 総合問題演習	工藤 英一 中島 京哉
第13回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本①	工藤 英一 中島 京哉
第14回	マーケティング リージョナルプロモーション（売場起点の狭域型購買促進）の基本②	工藤 英一 中島 京哉
第15回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本①	工藤 英一 中島 京哉
第16回	マーケティング 顧客志向型売場づくりの基本②	工藤 英一 中島 京哉
第17回	マーケティング 総合問題演習	工藤 英一 中島 京哉
第18回	販売・経営管理 小売業の計数管理	工藤 英一 中島 京哉
第19回	販売・経営管理 店舗管理の基本	工藤 英一 中島 京哉
第20回	販売・経営管理 総合問題演習	工藤 英一 中島 京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士ハンドブック3級 上巻・下巻（キャリアック） 販売士3級模擬問題集（キャリアック） モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 リテールマーケティング基礎IIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	リテールマーケティング基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、山下 健二	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング基礎Ⅰ」及び「リテールマーケティング基礎Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の種類(問題演習) 流通における小売業の基本	工藤 英一 中島 京哉
第2回	小売業の種類(問題演習) 組織形態別小売業の基本	工藤 英一 中島 京哉
第3回	小売業の種類(問題演習) 店舗形態別小売業の基本的役割	工藤 英一 中島 京哉
第4回	小売業の種類(問題演習) 商業集積の基本	工藤 英一 中島 京哉
第5回	マーチャンダイジング(問題演習) 商品の基本	山下 健二
第6回	マーチャンダイジング(問題演習) マーチャンダイジングの基本、商品計画の基本	山下 健二
第7回	マーチャンダイジング(問題演習) 販売計画および仕入計画などの基本	山下 健二

第8回	マーチャンドライジング(問題演習) 価格設定の基本	山下 健二
第9回	マーチャンドライジング(問題演習) 販売管理の基本	山下 健二
第10回	ストアオペレーション(問題演習) ストアオペレーションの基本	工藤 英一 中島 京哉
第11回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本①	工藤 英一 中島 京哉
第12回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本②	工藤 英一 中島 京哉
第13回	ストアオペレーション(問題演習) ディスプレイの基本③	工藤 英一 中島 京哉
第14回	マーケティング(問題演習) 小売業のマーケティングの基本、顧客満足経営の基本	工藤 英一 中島 京哉
第15回	マーケティング(問題演習) 商圈の設定と出店の基本	工藤 英一 中島 京哉
第16回	マーケティング(問題演習) リージョナルプロモーション(売場起点の狭域型購買促進)の基本	工藤 英一 中島 京哉
第17回	マーケティング(問題演習) 顧客志向型売場づくりの基本	工藤 英一 中島 京哉
第18回	直前模擬試験問題①演習・解説	工藤 英一 中島 京哉
第19回	直前模擬試験問題②演習・解説	工藤 英一 中島 京哉
第20回	直前模擬試験問題③演習・解説	工藤 英一 中島 京哉
準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士ハンドブック3級 上巻・下巻(カリアック) 販売士3級模擬問題集 (カリアック) モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する 場合がある。 リテールマーケティング基礎演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授 業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	リテールマーケティング応用Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、山下 健二	授業回数	17回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員	山下 健二		: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	流通・小売業における専門知識を身につけることを目的とし、販売員としての接客知識も学習する。授業内容の理解を到達目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	小売業の類型 流通と小売業の役割①	工藤 英一 中島 京哉	
第2回	小売業の類型 流通と小売業の役割②	工藤 英一 中島 京哉	
第3回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性①	工藤 英一 中島 京哉	
第4回	小売業の類型 組織別小売業の運営特性②	工藤 英一 中島 京哉	
第5回	マーチャンダイジング マーチャンダイジングの戦略的展開	山下 健二	
第6回	マーチャンダイジング 商品計画の戦略的立案	山下 健二	
第7回	マーチャンダイジング 販売計画の戦略的展開	山下 健二	

第8回	マーチャンダイジング 仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下 健二
第9回	ストアオペレーション 戦略的ストアオペレーションの展開視点	山下 健二
第10回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理①	工藤 英一 中島 京哉
第11回	ストアオペレーション 店舗運営サイクルの実践と管理②	工藤 英一 中島 京哉
第12回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方①	工藤 英一 中島 京哉
第13回	マーケティング リテールマーケティング戦略の考え方②	工藤 英一 中島 京哉
第14回	マーケティング 顧客戦略の展開方法	工藤 英一 中島 京哉
第15回	マーケティング リージョナルプロモーションの企画と実践	工藤 英一 中島 京哉
第16回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識①	工藤 英一 中島 京哉
第17回	販売・経営管理 販売管理者の法令知識②	工藤 英一 中島 京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士2級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士2級演習問題集（カリアック） モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 リテールマーケティング応用Ⅰは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	リテールマーケティング応用II		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、山下 健二		授業回数	17回	
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。				
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。				
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用I」を前提に、流通・小売業における専門知識を深めることを目的とし、販売員としての接客のみならず、売場や店舗管理者としての知識も学習する。日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定2級取得を目指す。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性①			工藤 英一 中島 京哉	
第2回	小売業の類型 店舗形態別小売業の運営特性②			工藤 英一 中島 京哉	
第3回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積の方向性①			工藤 英一 中島 京哉	
第4回	小売業の類型 中小小売業の課題と商業集積の方向性②			工藤 英一 中島 京哉	
第5回	マーチャンダイジング 販売政策の戦略的展開①			山下 健二	
第6回	マーチャンダイジング 販売政策の戦略的展開②			山下 健二	
第7回	マーチャンダイジング 商品管理政策の戦略的展開			山下 健二	

第8回	マーチャダイジング 物流政策の戦略的展開	山下 健二
第9回	ストアオペレーション 戦略的ディスプレイの実践方法①	工藤 英一 中島 京哉
第10回	ストアオペレーション LSPの役割と仕組み	工藤 英一 中島 京哉
第11回	ストアオペレーション 人的販売の実践と管理	工藤 英一 中島 京哉
第12回	マーケティング リージョナルプロモーションの企画と実践	工藤 英一 中島 京哉
第13回	マーケティング 商圈分析ならびに出店戦略の立案①	工藤 英一 中島 京哉
第14回	マーケティング 店舗（業態）開発の手順と実践	工藤 英一 中島 京哉
第15回	販売・経営管理 販売事務管理に求められる経営分析	工藤 英一 中島 京哉
第16回	販売・経営管理 小売業の組織体制と従業員管理①	工藤 英一 中島 京哉
第17回	販売・経営管理 店舗施設などの維持管理	工藤 英一 中島 京哉
準備学習等	学習範囲ごとにミニテストを実施する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士2級ハンドブック（上巻・下巻）（キャリアック） 販売士2級演習問題集（キャリアック） モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 リテールマーケティング応用IIは、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	リテールマーケティング応用演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	工藤 英一、中島 京哉、山下 健二	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	山下 健二	成績評価方法	: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	「マーチャンダイジング」の科目において、小売業の経営管理に必要な商品計画・商品化政策の知識を、小売の現場および経営者の立場から学習する。		
実務経験教員の 実務経験内容	流通業にて販売・営業の経験を経て、その後経営コンサルタント会社勤務、さらに独立開業しコンサルティングオフィスを設立・開業し、多くの自立型人材を育成している。		
授業目的 到達目標	科目「リテールマーケティング応用Ⅰ」及び「リテールマーケティング応用Ⅱ」を前提とし、問題演習を通じて学習範囲を振り返り、更なる知識の定着を図ることを目的とする。また、日本商工会議所主催リテールマーケティング（販売士）検定2級に合格できる能力を身につけることを到達目標とする。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	小売業の類型（問題演習） 流通と小売業の役割	工藤 英一 中島 京哉
第2回	小売業の類型（問題演習） 組織別小売業の運営特性	工藤 英一 中島 京哉
第3回	小売業の類型（問題演習） 店舗形態別小売業の運営特性	工藤 英一 中島 京哉
第4回	小売業の類型（問題演習） 中小小売業の課題と商業集積の方向性	工藤 英一 中島 京哉
第5回	マーチャンダイジング（問題演習） マーチャンダイジングの戦略的展開、商品計画の戦略的立案	山下 健二
第6回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売計画の戦略的展開、仕入計画の策定と仕入活動の戦略的展開	山下 健二
第7回	マーチャンダイジング（問題演習） 販売政策の戦略的展開	山下 健二

第8回	マーチャンダイジング（問題演習） 商品管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開	山下 健二
第9回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ストアオペレーションの展開視点、店舗運営サイクルの実践と管理	工藤 英一 中島 京哉
第10回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法	工藤 英一 中島 京哉
第11回	ストアオペレーション（問題演習） 戦略的ディスプレイの実践方法、LSPの役割と仕組み	工藤 英一 中島 京哉
第12回	ストアオペレーション（問題演習） 人的販売の実践と管理	工藤 英一 中島 京哉
第13回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の考え方	工藤 英一 中島 京哉
第14回	マーケティング（問題演習） リテールマーケティング戦略の実施方法、顧客戦略の展開方法	工藤 英一 中島 京哉
第15回	マーケティング（問題演習） リージョナルプロモーションの企画と実践、 商圈分析ならびに出店戦略の立案	工藤 英一 中島 京哉
第16回	マーケティング（問題演習） 店舗（業態）開発の手順と実践	工藤 英一 中島 京哉
第17回	販売・経営管理（問題演習） 販売管理者の法令知識	工藤 英一 中島 京哉
第18回	販売・経営管理（問題演習） 販売事務管理に求められる経営分析	工藤 英一 中島 京哉
第19回	販売・経営管理（問題演習） 小売業の組織体制と従業員管理	工藤 英一 中島 京哉
第20回	販売・経営管理（問題演習） 店舗施設などの維持管理	工藤 英一 中島 京哉
準備学習等	全範囲の理解度を再確認する。復習を計画的に行うこと。	
教科書 参考書等	販売士2級ハンドブック（上巻・下巻）（カリアック） 販売士2級演習問題集（カリアック） モノグサ(モノグサ株式会社(e-ラーニング))	

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>リテールマーケティング応用演習は、上記学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>
----	--

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	4単位
科目教員	穴戸 雄翔	授業回数	25回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
		: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	消費税・法人税の基本的な税務処理及び源泉徴収や確定申告の書類作成ができることを目的とする。また、消費税・法人税の計算及び理論体系を学ぶことで全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験3級及び、全国経理教育協会主催法人税法能力検定試験3級に合格できる能力を身につけることを目標とする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	【消費税】 消費税の概要、課税の対象、非課税	穴戸 雄翔	
第2回	【消費税】 輸出免税等	穴戸 雄翔	
第3回	【消費税】 納税義務者、納税地、納税期間	穴戸 雄翔	
第4回	【消費税】 課税標準及び税率	穴戸 雄翔	
第5回	【消費税】 仕入税額控除	穴戸 雄翔	
第6回	【消費税】 課税標準額に対する消費税額の調整	穴戸 雄翔	
第7回	【消費税】 申告、納付、還付	穴戸 雄翔	

第8回	【消費税】 過去試験問題 実施・解説①	穴戸 雄翔
第9回	【消費税】 過去試験問題 実施・解説②	穴戸 雄翔
第10回	【消費税】 過去試験問題 実施・解説③	穴戸 雄翔
第11回	【消費税】 過去試験問題 実施・解説④	穴戸 雄翔
第12回	【消費税】 過去試験問題 実施・解説⑤	穴戸 雄翔
第13回	【法人税】 法人税の概要、所得の金額の計算方法	穴戸 雄翔
第14回	【法人税】 租税公課の概要、減価償却（概要、減価償却資産の範囲・償却方法）	穴戸 雄翔
第15回	【法人税】 繰延資産、貸倒引当金（概要、繰り入れ限度額の計算式、個別評価金銭債権、一括評価金銭債権）	穴戸 雄翔
第16回	【法人税】 貸倒引当金（申告調整額の計算および処理、問題集解説）、同族会社	穴戸 雄翔
第17回	【法人税】 役員に対する給与等、税額の計算（別表四および別表一のまとめ）	穴戸 雄翔
第18回	【法人税】 寄附金、交際費等	穴戸 雄翔
第19回	【法人税】 資産の評価、申告手続	穴戸 雄翔
第20回	【法人税】 過去試験問題 実施・解説①	穴戸 雄翔
第21回	【法人税】 過去試験問題 実施・解説②	穴戸 雄翔
第22回	【法人税】 過去試験問題 実施・解説③	穴戸 雄翔
第23回	【法人税】 過去試験問題 実施・解説④	穴戸 雄翔
第24回	【法人税】 過去試験問題 実施・解説⑤	穴戸 雄翔
第25回	【法人税】 過去試験問題 実施・解説⑥	穴戸 雄翔

準備学習等	<p>税務書類は全ての計算ができて完成する。日々の授業の復習を怠らないようにすること。また、各回の内容の理解が不十分な場合には、科目教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。</p>
教科書 参考書等	<p>【消費税】 全経消費税法能力検定試験公式テキスト3級/2級（ネットスクール） 令和8年度版 消費税法能力検定試験過去問題集 3級 （公益社団法人 全国経理教育協会）</p> <p>【法人税】 全経法人税法能力検定試験公式テキスト3級/2級（ネットスクール） 令和8年度版 法人税法能力検定試験 過去問題集 3級 （公益社団法人 全国経理教育協会）</p> <p>【共通】 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。税務会計は、上記学科の選択必修科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や講義、試験でモノグサを使用する。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	社会人総合実習Ⅳ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	4単位
		授業回数	40回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治	成績評価方法	: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	システム開発において、実務に沿った開発フローを行う。 要件定義においては必要機能要件だけでなく、非機能要件についても評価することにより実務に近い開発を行う。		
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)		
授業目的 到達目標	システム設計及びシステム開発に関する知識、技能を有し、 統合開発環境を用いたプログラミングからデバックまでを実践することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	システム開発演習① システムの設計と構築	鈴木裕治
第2回	システム開発演習② システムの設計と構築	鈴木裕治
第3回	システム開発演習③ システムの設計と構築	鈴木裕治
第4回	システム開発演習④ システムの設計と構築	鈴木裕治
第5回	システム開発演習⑤ システムの設計と構築	鈴木裕治
第6回	システム設計演習①	鈴木裕治
第7回	システム設計演習②	鈴木裕治

第8回	システム設計演習③	鈴木裕治
第9回	システム設計演習④	鈴木裕治
第10回	システム設計演習⑤	鈴木裕治
第11回	システム要件定義①	鈴木裕治
第12回	システム要件定義②	鈴木裕治
第13回	非機能要件①	鈴木裕治
第14回	非機能要件②	鈴木裕治
第15回	システム設計①	鈴木裕治
第16回	システム設計②	鈴木裕治
第17回	システム詳細設計①	鈴木裕治
第18回	システム詳細設計②	鈴木裕治
第19回	ソフトウェア設計①	鈴木裕治
第20回	ソフトウェア設計②	鈴木裕治
第21回	制作企画①	鈴木裕治
第22回	制作企画②	鈴木裕治
第23回	制作企画③	鈴木裕治
第24回	制作企画④	鈴木裕治
第25回	制作企画⑤	鈴木裕治

第26回	制作設計①	鈴木裕治
第27回	制作設計②	鈴木裕治
第28回	制作設計③	鈴木裕治
第29回	制作設計④	鈴木裕治
第30回	制作設計⑤	鈴木裕治
第31回	制作開発①	鈴木裕治
第32回	制作開発②	鈴木裕治
第33回	制作開発③	鈴木裕治
第34回	制作開発④	鈴木裕治
第35回	制作開発⑤	鈴木裕治
第36回	制作開発⑥	鈴木裕治
第37回	制作開発⑦	鈴木裕治
第38回	制作開発⑧	鈴木裕治
第39回	制作開発⑨	鈴木裕治
第40回	制作開発⑩	鈴木裕治
準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。	
教科書 参考書等	スッキリわかるサーブレット&JSP入門 第4版 <input checked="" type="checkbox"/> インプレス モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））	

備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。</p> <p>上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>
----	--

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	プログラミング基礎Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語の言語仕様を理解し、簡単なプログラムを作成することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	プログラミング言語の概要	鈴木裕治
第2回	プログラミング言語の仕様① データ型・配列	鈴木裕治
第3回	プログラミング言語の仕様② 制御構造	鈴木裕治
第4回	オブジェクト指向① クラス・オブジェクト	鈴木裕治
第5回	オブジェクト指向② オーバーロード・オーバーライド	鈴木裕治
第6回	オブジェクト指向③ アクセス制御・変数のスコープ	鈴木裕治
第7回	プログラミング演習①	鈴木裕治

第8回	プログラミング演習②	鈴木裕治
第9回	プログラミング演習③	鈴木裕治
第10回	プログラミング演習④	鈴木裕治
準備学習等	コンピュータの基本操作を理解していること。	
教科書 参考書等	スッキリわかるPython入門 第2版(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	プログラミング応用Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	30回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	プログラミング言語を使用してアプリケーション開発を行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ライブラリ	鈴木裕治
第2回	ライブラリ演習	鈴木裕治
第3回	例外処理	鈴木裕治
第4回	例外処理演習	鈴木裕治
第5回	入出力処理① ストリーム	鈴木裕治
第6回	入出力処理演習① ストリーム	鈴木裕治
第7回	入出力処理② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治

第8回	入出力処理演習② テキストファイルからの入出力	鈴木裕治
第9回	入出力処理③ キーボードからの入力	鈴木裕治
第10回	入出力処理演習③ キーボードからの入力	鈴木裕治
第11回	入出力処理④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治
第12回	入出力処理演習④ コマンドラインからの入力	鈴木裕治
第13回	マルチスレッド	鈴木裕治
第14回	マルチスレッド演習	鈴木裕治
第15回	GUI コンポーネント	鈴木裕治
第16回	GUI イベント処理	鈴木裕治
第17回	GUI演習	鈴木裕治
第18回	データベース接続 データベースプログラム	鈴木裕治
第19回	データベース接続演習 データベースプログラム	鈴木裕治
第20回	アプリケーション開発	鈴木裕治
第21回	課題制作①	鈴木裕治
第22回	課題制作②	鈴木裕治
第23回	課題制作③	鈴木裕治
第24回	課題制作④	鈴木裕治
第25回	課題制作⑤	鈴木裕治

第26回	課題制作⑥	鈴木裕治
第27回	課題制作⑦	鈴木裕治
第28回	課題制作⑧	鈴木裕治
第29回	課題制作⑨	鈴木裕治
第30回	課題制作⑩	鈴木裕治
準備学習等	コンピュータの基本操作およびプログラミングの基礎を理解していること。	
教科書 参考書等	スッキリわかるPython入門 第2版(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	アプリケーション開発基礎 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木裕治	成績 評価 方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
: %			
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なCUI (Character User Interface) アプリケーション開発を行うことができる。		


授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	例外処理とマルチスレッド	鈴木裕治
第2回	コレクションフレームワーク	鈴木裕治
第3回	入出力 (I/O)	鈴木裕治
第4回	ネットワーク	鈴木裕治
第5回	データベース	鈴木裕治
第6回	イベントハンドラ	鈴木裕治
第7回	コンソール	鈴木裕治

第8回	ログ出力	鈴木裕治
第9回	スタックトレース	鈴木裕治
第10回	タイマー	鈴木裕治
第11回	CUIアプリ開発実習①	鈴木裕治
第12回	CUIアプリ開発実習②	鈴木裕治
第13回	CUIアプリ開発実習③	鈴木裕治
第14回	CUIアプリ開発実習④	鈴木裕治
第15回	CUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治
第16回	CUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治
第17回	CUIアプリ開発実習⑦	鈴木裕治
第18回	CUIアプリ開発実習⑧	鈴木裕治
第19回	CUIアプリ開発実習⑨	鈴木裕治
第20回	CUIアプリ開発実習⑩	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>これからWebをはじめる人のHTML&CSS、JavaScriptのきほんのきほん(マイナビ出版) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	アプリケーション開発応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
		授業回数	20回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	課題提出 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	実用的なGUI（Graphical User Interface）アプリケーション開発を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	GUIライブラリ	鈴木裕治	
第2回	代表的なコンポーネントとレイアウト	鈴木裕治	
第3回	イベント処理	鈴木裕治	
第4回	その他のコンポーネントとレイアウト①	鈴木裕治	
第5回	その他のコンポーネントとレイアウト②	鈴木裕治	
第6回	その他のコンポーネントとレイアウト③	鈴木裕治	
第7回	描画処理	鈴木裕治	

第8回	マウスイベント処理	鈴木裕治
第9回	データベースの利用①	鈴木裕治
第10回	データベースの利用②	鈴木裕治
第11回	データベースの利用③	鈴木裕治
第12回	ネットワークの利用①	鈴木裕治
第13回	ネットワークの利用②	鈴木裕治
第14回	ネットワークの利用③	鈴木裕治
第15回	GUIアプリ開発実習①	鈴木裕治
第16回	GUIアプリ開発実習②	鈴木裕治
第17回	GUIアプリ開発実習③	鈴木裕治
第18回	GUIアプリ開発実習④	鈴木裕治
第19回	GUIアプリ開発実習⑤	鈴木裕治
第20回	GUIアプリ開発実習⑥	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>1冊ですべて身につくJavaScript入門講座  クリエイティブ モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	コンピュータリテラシ		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	1単位		
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子			: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ				
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター				
授業目的 到達目標	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	コンピュータの基本操作			鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	文書作成基礎①			鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	文書作成基礎②			鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	文書作成基礎③			鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	表計算基礎①			鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	表計算基礎②			鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	表計算基礎③	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	プレゼンテーション基礎①	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	プレゼンテーション基礎②	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	情報セキュリティと情報倫理	鈴木裕治 五十嵐久子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>ExcelR表計算処理技能認定試験1・2級問題集（サーティファイ） Word文書処理技能認定試験 1・2級問題集（サーティファイ） PowerPointRプレゼンテーション技能認定試験問題集（サーティファイ）</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	コンピュータリテラシ（表計算）	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	2単位
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子	授業回数	20回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子	: %	: %
		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学（夏季・冬季）講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	表計算ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	作業環境 基礎知識・ブックの表示	鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	基本操作 セルの書式設定・レイアウト	鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	数式と計算 計算機能・関数	鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	グラフ グラフ作成/変更	鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	オブジェクト 作成・書式	鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	データベース機能 入力規則・ピボットテーブル	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	入出力 ページレイアウト・印刷	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	リンク マクロ	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	共有と保護 ワークシート・ワークブックの保護	鈴木裕治 五十嵐久子
第11回	検定対策①	鈴木裕治 五十嵐久子
第12回	検定対策②	鈴木裕治 五十嵐久子
第13回	検定対策③	鈴木裕治 五十嵐久子
第14回	検定対策④	鈴木裕治 五十嵐久子
第15回	検定対策⑤	鈴木裕治 五十嵐久子
第16回	検定対策⑥	鈴木裕治 五十嵐久子
第17回	検定対策⑦	鈴木裕治 五十嵐久子
第18回	検定対策⑧	鈴木裕治 五十嵐久子
第19回	検定対策⑨	鈴木裕治 五十嵐久子
第20回	検定対策⑩	鈴木裕治 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftExcel (FOM出版) Excel表計算処理技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。

		学科	情報ビジネス学科 (3年課程)		
		学年	1 学年		
科目名	コンピュータリテラシ (文書処理)		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子		授業回数	20回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子			%	
				%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ				
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学 (夏季・冬季) 講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター				
授業目的 到達目標	文書処理ソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	作業環境 基礎知識・表示とウィンドウ			鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	環境の設定と変更			鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	書式の設定と変更 文字書式・拡張書式・段落書式			鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	書式の設定と変更 段組み・スタイル			鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	ファイル デザイン・レイアウト・印刷			鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	文書編集 改ページ・ヘッダーとフッター			鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	罫線と表 表・デザイン・レイアウト	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	オブジェクト 挿入・書式・配置/整列	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	Excelのワークシート	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 五十嵐久子
第11回	検定対策①	鈴木裕治 五十嵐久子
第12回	検定対策②	鈴木裕治 五十嵐久子
第13回	検定対策③	鈴木裕治 五十嵐久子
第14回	検定対策④	鈴木裕治 五十嵐久子
第15回	検定対策⑤	鈴木裕治 五十嵐久子
第16回	検定対策⑥	鈴木裕治 五十嵐久子
第17回	検定対策⑦	鈴木裕治 五十嵐久子
第18回	検定対策⑧	鈴木裕治 五十嵐久子
第19回	検定対策⑨	鈴木裕治 五十嵐久子
第20回	検定対策⑩	鈴木裕治 五十嵐久子

準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftWord (FOM出版) Word文書処理技能認定試験 問題集 (サーティファイ)
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	コンピュータリテラシ (プレゼン)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員	五十嵐久子	: %	: %
		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の 実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学 (夏季・冬季) 講師、自衛隊 業務管理訓練講師、 小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	プレゼンテーションソフトの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	作業環境 基礎知識・基本操作	鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	環境の設定と変更	鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	書式設定 フォント・段落・タブ	鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	スライド① デザイン・マスター	鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	スライド② スライドショー・アニメーション	鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	ファイル 共有・エクスポート・印刷	鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	編集 テキスト、オブジェクトの編集	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	罫線と表 作成・編集・レイアウト	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	オブジェクト 図形の書式・メディア	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	校閲	鈴木裕治 五十嵐久子
準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。	
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftPowerPoint (FOM出版) PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集 (サーティファイ)	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	コンピュータリテラシ (データベース)	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、五十嵐久子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員	五十嵐久子	:	%
実務経験教員の実務経験に関する授業内容	Word、Excel、Power Point、Access、ネットワーク、システムアドミニストレータ		
実務経験教員の実務経験内容	【五十嵐久子】 企業研修講師、専門学校講師、大学 (夏季・冬季) 講師、自衛隊 業務管理訓練講師、小・中学校情報アドバイザー、市町村IT講習会講師などのメインインストラクター		
授業目的 到達目標	データベースソフトウェアの基礎的な知識・技術を習得し、データ処理を行うことができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	概要作業環境 基礎知識・環境の設定と変更	鈴木裕治 五十嵐久子	
第2回	データベース データベースの知識・作成・操作	鈴木裕治 五十嵐久子	
第3回	テーブル 作成・操作・ビュー・フィールド	鈴木裕治 五十嵐久子	
第4回	データ 検索・フィルター・データシート	鈴木裕治 五十嵐久子	
第5回	クエリ 作成・操作・プロパティ	鈴木裕治 五十嵐久子	
第6回	リレーションシップ 作成・詳細	鈴木裕治 五十嵐久子	

第7回	フォーム ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 五十嵐久子
第8回	レポート ビュー・デザイン・応用	鈴木裕治 五十嵐久子
第9回	フォームとレポートのセクション コントロール	鈴木裕治 五十嵐久子
第10回	マクロ・式 作成・演算子・関数	鈴木裕治 五十嵐久子
準備学習等	コンピュータリテラシを理解し、コンピュータの基本操作を行うことができる。	
教科書 参考書等	よくわかるマスター MicrosoftAccess (FOM出版) Accessビジネスデータベース技能認定試験 問題集 (サーティファイ)	
備考	授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）	
		学年	1 学年	
科目名	システム開発基礎Ⅰ		授業形態	演習
			選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		有		
		単位数	2単位	
科目教員	鈴木裕治		授業回数	20回
			成績 評価 方法	課題提出
平常点	: 30 %			
	: %			
	: %			
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			%
				%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。			
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)			
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるフロントエンド開発を行うことができる。			
授業計画				
回数	授業内容			科目教員
第1回	フロントエンド開発について 開発環境構築			鈴木裕治
第2回	HTML①			鈴木裕治
第3回	HTML②			鈴木裕治
第4回	HTML③			鈴木裕治
第5回	CSS①			鈴木裕治
第6回	CSS②			鈴木裕治
第7回	CSS③			鈴木裕治

第8回	CSSフレームワーク①	鈴木裕治
第9回	CSSフレームワーク②	鈴木裕治
第10回	CSSフレームワーク③	鈴木裕治
第11回	JavaScript①	鈴木裕治
第12回	JavaScript②	鈴木裕治
第13回	JavaScript③	鈴木裕治
第14回	jQuery①	鈴木裕治
第15回	jQuery②	鈴木裕治
第16回	jQuery③	鈴木裕治
第17回	Webページ制作実習①	鈴木裕治
第18回	Webページ制作実習②	鈴木裕治
第19回	Webページ制作実習③	鈴木裕治
第20回	Webページ制作実習④	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座 [第2版] (SBクリエイティブ) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科 (3年課程)		
		学年	1 学年		
科目名	システム開発応用 I		授業形態	演習	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無		有			
		単位数	2単位		
科目教員	鈴木裕治		授業回数	20回	
			成績 評価 方法	課題提出	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
	: %				
科目教員のうち 実務経験教員	鈴木裕治			%	
				%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	要求項目の洗い出し、分析、システム化ニーズの整理、前提条件や制約条件の整理、解決策の検討、実現可能性の分析、新しい業務モデルと業務フローの提案という基本的な手順の説明を行う。				
実務経験教員の 実務経験内容	主な開発実績：金融系システムの開発、クライアントサーバシステムの開発 主な使用言語：COBOL、4GL、Java(画面レイアウトの開発)				
授業目的 到達目標	Webシステム開発におけるバックエンド開発を行うことができる。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	バックエンド開発について 開発環境構築			鈴木裕治	
第2回	HTMLとCSSの復習①			鈴木裕治	
第3回	HTMLとCSSの復習②			鈴木裕治	
第4回	php①			鈴木裕治	
第5回	php②			鈴木裕治	
第6回	php③			鈴木裕治	
第7回	php④			鈴木裕治	

第8回	php⑤	鈴木裕治
第9回	php⑥	鈴木裕治
第10回	php⑦	鈴木裕治
第11回	データベース①	鈴木裕治
第12回	データベース②	鈴木裕治
第13回	データベース③	鈴木裕治
第14回	セキュリティ対策	鈴木裕治
第15回	Webシステム開発実習①	鈴木裕治
第16回	Webシステム開発実習②	鈴木裕治
第17回	Webシステム開発実習③	鈴木裕治
第18回	Webシステム開発実習④	鈴木裕治
第19回	Webシステム開発実習⑤	鈴木裕治
第20回	Webシステム開発実習⑥	鈴木裕治
準備学習等	<p>基本的なプログラミングを行えること。 開発フローおよび開発管理技法を理解していること。</p>	
教科書 参考書等	<p>1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座 [第2版] (SBクリエイティブ) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する 場合がある。 上記学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理テクノロジー基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジー分野に関する基本的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	データベース	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科（3年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	情報処理マネジメント基礎		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数	1単位		
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する基本的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	システム開発技術			鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	システム開発管理技術			鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	開発プロセス			鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	開発手法			鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	サービスマネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	サービスサポート			鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科 (3年課程)		
		学年	1 学年		
科目名	情報処理ストラテジ基礎		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	1単位
				授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		成績評価方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
科目教員のうち 実務経験教員					: %
					: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する基本的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	企業活動①				鈴木裕治 伊藤和子
第2回	企業活動②				鈴木裕治 伊藤和子
第3回	OR・IE				鈴木裕治 伊藤和子
第4回	法務①				鈴木裕治 伊藤和子
第5回	法務②				鈴木裕治 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント				鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ				鈴木裕治 伊藤和子

第8回	システム戦略①	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理基礎演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	情報処理テクノロジー応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なテクノロジー分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	システム構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	ハードウェア	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	データベース	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	ネットワーク	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	セキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	情報処理マネジメント応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
	: %		
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なマネジメント分野に関する応用的知識・技能を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム開発技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	開発プロセス	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	開発手法	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	サービスサポート	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム監査	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	内部統制	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 科目B 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	情報処理ストラテジ応用 I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	企業活動①	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	企業活動②	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	OR・IE	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	法務①	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	法務②	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	経営戦略マネジメント	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	ビジネスインダストリ	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	システム戦略①	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理応用演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能に関する問いに対して正確に解答することができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	総合問題演習④	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	総合問題演習⑤	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	総合問題演習⑥	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	総合問題演習⑦	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 基本情報技術者 超効率の教科書+よく出る問題集(インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	アルゴリズム基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造に関する基礎知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムの表現方法 フローチャート・疑似言語	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	データ構造① 基本データ型	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	データ構造② 配列	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	データ構造③ リスト構造	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	データ構造④ 木構造	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	データ構造⑤ その他のデータ構造	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	アルゴリズム① サーチアルゴリズム	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	アルゴリズム② ソートアルゴリズム	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	アルゴリズム③ 文字列処理	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	アルゴリズム④ 代表的なアルゴリズム	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	アルゴリズム応用	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	アルゴリズムとデータ構造についての知識を有し、フローのトレースを行うことができる。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	アルゴリズムとデータ構造① 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第2回	アルゴリズムとデータ構造② 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第3回	アルゴリズムとデータ構造③ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第4回	アルゴリズムとデータ構造④ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第5回	アルゴリズムとデータ構造⑤ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第6回	アルゴリズムとデータ構造⑥ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第7回	アルゴリズムとデータ構造⑦ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子

第8回	アルゴリズムとデータ構造⑧ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	アルゴリズムとデータ構造⑨ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	アルゴリズムとデータ構造⑩ 総合問題演習・トレース演習	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科 (3年課程)		
		学年	1 学年		
科目名	情報セキュリティ基礎		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	1単位
				授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
				: %	
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	情報セキュリティに関する基礎知識を有する。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	情報セキュリティ① 情報セキュリティの概念				鈴木裕治 伊藤和子
第2回	情報セキュリティ② 脅威・脆弱性				鈴木裕治 伊藤和子
第3回	情報セキュリティ③ 攻撃手法・認証				鈴木裕治 伊藤和子
第4回	情報セキュリティ管理① セキュリティポリシ・ISMS				鈴木裕治 伊藤和子
第5回	情報セキュリティ管理② リスクアセスメント				鈴木裕治 伊藤和子
第6回	情報セキュリティ技術評価 セキュリティ評価基準				鈴木裕治 伊藤和子
第7回	情報セキュリティ対策① 人的セキュリティ対策				鈴木裕治 伊藤和子

第8回	情報セキュリティ対策② 技術的セキュリティ対策	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	セキュリティ実装技術① ネットワークセキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	セキュリティ実装技術② アプリケーションセキュリティ	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報セキュリティ応用	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
科目教員のうち実務経験教員		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
実務経験教員の授業内容		: %	
授業目的到達目標	情報セキュリティに関する知識・技能を有し、実践的なセキュリティ管理ができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	情報セキュリティ全般① 機密性・完全性・可用性	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	情報セキュリティ全般② 脅威・脆弱性・サイバー攻撃	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	情報セキュリティ全般③ 暗号技術・認証技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	情報セキュリティ管理① 情報資産・リスク	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	情報セキュリティ管理② ISMS・インシデント管理	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	情報セキュリティ対策① マルウェア対策	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	情報セキュリティ対策② 不正アクセス対策	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	情報セキュリティ対策③ 情報漏えい対策	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	情報セキュリティ対策④ アクセス管理	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	情報セキュリティ関連法規	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	ネットワーク基礎	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 %
平常点 : 30 %			
: %			
: %			
科目教員のうち 実務経験教員		: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する基礎知識を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ネットワーク方式① ネットワークの種類と特徴	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	ネットワーク方式② インターネット技術	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	データ通信と制御① ネットワークアーキテクチャ	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	データ通信と制御② LAN間接続装置・伝送制御	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	通信プロトコル① プロトコルとインタフェース	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	通信プロトコル② プロトコル	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	通信プロトコル③ プロトコル	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	通信プロトコル④ プロトコル	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	通信プロトコル⑤ セキュアプロトコル	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	ネットワーク管理 構成管理・管理ツール	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	ネットワーク応用	授業形態	
		選必の別	講義
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	授業回数	10回
		成績評価方法	筆記試験 : 70 % 平常点 : 30 % : % : % : %
科目教員のうち 実務経験教員			
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	通信技術・ネットワークに関する応用的知識・技能を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	インターネット① 電子メール	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	インターネット② Web	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	インターネット③ ファイル転送	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	VPN①	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	VPN②	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	通信サービス① FTTH	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	通信サービス② IP電話	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	モバイルシステム① モバイル通信サービス	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	モバイルシステム② 構成要素	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	モバイルシステム③ LPWA	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科 (3年課程)
学年	1 学年

科目名	システムアーキテクチャ I	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	システムの処理形態・利用形態・適用領域を習得し応用できる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	集中処理システム	鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	分散処理システム	鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	システム構成	鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	ハイパフォーマンスコンピューティング	鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	クライアントサーバシステム	鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	Webシステム	鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	ストレージ	鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	信頼性設計	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システムの評価指標① システムの性能特性と評価	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システムの評価指標② システムの信頼性特性と評価	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>基本情報技術者 A科目対策 テキスト・問題集 補助プリント モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理入門テクノロジー	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なテクノロジー分野の知識を有する。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	基礎理論	鈴木裕治
第2回	アルゴリズムとプログラミング	鈴木裕治
第3回	コンピュータ構成要素	鈴木裕治
第4回	システム構成要素	鈴木裕治
第5回	ソフトウェア	鈴木裕治
第6回	ハードウェア	鈴木裕治
第7回	ヒューマンインターフェース マルチメディア	鈴木裕治

第8回	データベース	鈴木裕治
第9回	ネットワーク	鈴木裕治
第10回	セキュリティ	鈴木裕治
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題（インプレス） かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理入門マネジメント	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的なマネジメント分野の知識を有する。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	システム開発技術	鈴木裕治	
第2回	システム開発管理技術	鈴木裕治	
第3回	開発プロセス	鈴木裕治	
第4回	開発手法	鈴木裕治	
第5回	プロジェクトマネジメント	鈴木裕治	
第6回	サービスマネジメント	鈴木裕治	
第7回	サービスサポート	鈴木裕治	

第8回	ファシリティマネジメント	鈴木裕治
第9回	システム監査	鈴木裕治
第10回	内部統制	鈴木裕治
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題（インプレス） かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

		学科	情報ビジネス学科 (3年課程)		
		学年	1 学年		
科目名	情報処理入門ストラテジ		授業形態	講義	
			選必の別	選必	
実務経験のある教員による科目の有無				単位数	1単位
				授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治、伊藤和子		成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
				: %	
				: %	
科目教員のうち 実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	高度IT人材となるために必要なストラテジ分野に関する応用的知識・技能を有する。				
授業計画					
回数	授業内容			科目教員	
第1回	企業活動①			鈴木裕治 伊藤和子	
第2回	企業活動②			鈴木裕治 伊藤和子	
第3回	OR・IE			鈴木裕治 伊藤和子	
第4回	法務①			鈴木裕治 伊藤和子	
第5回	法務②			鈴木裕治 伊藤和子	
第6回	経営戦略マネジメント			鈴木裕治 伊藤和子	
第7回	ビジネスインダストリ			鈴木裕治 伊藤和子	

第8回	システム戦略①	鈴木裕治 伊藤和子
第9回	システム戦略②	鈴木裕治 伊藤和子
第10回	システム企画	鈴木裕治 伊藤和子
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題（インプレス） かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス） モノグサ（モノグサ株式会社（e-ラーニング））</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	情報処理入門演習	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	10回
科目教員	鈴木裕治	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
			: %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	職業人が備えておきべき情報技術に関する基礎的な問いに対して、正確に解答することができる。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	項目別問題演習① テクノロジー分野	鈴木裕治	
第2回	項目別問題演習② マネジメント分野	鈴木裕治	
第3回	項目別問題演習③ ストラテジ分野	鈴木裕治	
第4回	総合問題演習①	鈴木裕治	
第5回	総合問題演習②	鈴木裕治	
第6回	総合問題演習③	鈴木裕治	
第7回	総合問題演習（CBT）①	鈴木裕治	

第8回	総合問題演習 (CBT) ②	鈴木裕治
第9回	総合問題演習 (CBT) ③	鈴木裕治
第10回	総合問題演習 (CBT) ④	鈴木裕治
準備学習等	<p>短期間での学習になるため、日々の授業の復習が大切。 理解が不十分な場合には科目教員に質問し、理解したうえで次の授業に臨むこと。 なお、予習は不要。</p>	
教科書 参考書等	<p>かんたん合格 ITパスポート教科書&必須問題 (インプレス) かんたん合格ITパスポート過去問題集 (インプレス) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))</p>	
備考	<p>授業計画の各内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 上記学科の選択必須科目であるため、各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	消費税法税務会計	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	3単位
科目教員	小関 哲也	授業回数	23回
		成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
: %			
科目教員のうち 実務経験教員	小関 哲也	: %	: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	実務において、消費税を計算することができる基礎知識を身につけさせる。 また、過去の全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験の出題内容を実務に照らして解説することにより、実務に対応できる基礎知識を習得する授業を行う。		
実務経験教員の 実務経験内容	一般事業会社において、財務責任者として会計事務所と共同で、消費税に関する日々の会計処理を行うとともに、消費税を計算し確定申告書の作成及び各届出書の業務を行っていた。		
授業目的 到達目標	消費税の仕組みを理解し、消費税の計算を基礎から学び、事業者(法人及び個人事業者)の消費税の計算ができることを目的とする。 また、全国経理教育協会主催消費税法能力検定試験1級に出題される計算問題を解答できるレベルを目指す。		

授業計画

回数	授業内容	科目教員
第1回	ガイダンス 消費税法の概要	小関 哲也
第2回	課税の対象	小関 哲也
第3回	非課税項目	小関 哲也
第4回	輸出免税項目	小関 哲也
第5回	課税売上割合の計算及び控除対象仕入税額(個別対応方式・一括比例配分方式)	小関 哲也
第6回	売り上げに係る対価の返還等	小関 哲也
第7回	貸し倒れが生じた場合	小関 哲也

第8回	課税仕入れの範囲	小関 哲也
第9回	仕入に係る対価の返還等	小関 哲也
第10回	国境を越えた役務の提供	小関 哲也
第11回	中間申告に係る納付税額の計算	小関 哲也
第12回	課税仕入れ等の分類等 課税仕入れ等の時期	小関 哲也
第13回	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額の特例	小関 哲也
第14回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除①	小関 哲也
第15回	調整対象固定資産に係る仕入税額控除②	小関 哲也
第16回	特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例	小関 哲也
第17回	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整	小関 哲也
第18回	課税標準	小関 哲也
第19回	簡易課税制度	小関 哲也
第20回	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例	小関 哲也
第21回	資産の譲渡等の時期 居住用賃貸建物を課税賃貸用に供した場合の仕入れ税額控除の調整	小関 哲也
第22回	国等に対する特例	小関 哲也
第23回	総まとめ問題	小関 哲也
準備学習等	消費税法の学習は、積み重ねが重要であることから復習を十分に行い理解しておくとともに、計算問題集を活用して実際に消費税の計算の演習を行うことが重要。各回の内容の理解が不十分な場合には、教員に質問・相談を行い次回の授業に臨むこと。	

教科書 参考書等	消費税法計算テキストⅠ・Ⅱ（大原学園）、消費税法計算問題集Ⅰ・Ⅱ（大原学園）、理論テキスト（大原学園）、消費税法規通達集（中央経済社）、総合計算問題集基礎編（大原出版）、全国経理教育協会主催消費税法能力検定
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 消費税法税務会計は、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となる。

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	簿記論Ⅰ	授業形態	講義
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	4単位
科目教員	竹村 幸生	授業回数	25回
		成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち 実務経験教員		:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容		:	%
実務経験教員の 実務経験内容		:	%
授業目的 到達目標	日商簿記検定2級（商業簿記）程度の簿記知識をすでに習得していることを前提に、中小企業にて行われる各種取引の会計処理について細部まで解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。そして、日々の取引から決算整理に至るまで、主要簿及び補助簿等への記入や締め切り、帳簿を基礎として作成される各種試算表や精算表といった、主に企業内部で使用される帳票類を自ら作成できる能力と、税理士試験簿記論に合格できる基礎能力を身につけることを到達目標とします。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス、簿記の目的、簿記の仕組み	竹村 幸生	
第2回	主要簿及び補助簿、決算振替	竹村 幸生	
第3回	精算表、貸借対照表及び損益計算書	竹村 幸生	
第4回	現金の範囲、現金過不足、当座預金（小切手）	竹村 幸生	
第5回	債権債務、約束手形	竹村 幸生	
第6回	三分法、商品有高帳、商品評価損等	竹村 幸生	
第7回	固定資産の概要、減価償却、固定資産の売却等	竹村 幸生	

第8回	資本的支出と収益的支出、無形固定資産	竹村 幸生
第9回	源泉所得税・社会保険料、賞与引当金	竹村 幸生
第10回	貸倒損失、貸倒引当金(実績率法、財務内容評価法)	竹村 幸生
第11回	損益の見越・繰延、退職給付（簡便法・退職一時金制度）	竹村 幸生
第12回	有価証券の概要、売買目的有価証券、関係会社株式	竹村 幸生
第13回	法人税等、租税公課、消費税等	竹村 幸生
第14回	手形の譲渡、社債の概要、償却原価法（定額法）	竹村 幸生
第15回	純資産の概要、資本金・資本準備金	竹村 幸生
第16回	当座預金の期末修正、当座借越	竹村 幸生
第17回	その他資本剰余金、利益準備金・繰越利益剰余金	竹村 幸生
第18回	自己株式の概要、自社利用目的のソフトウェア	竹村 幸生
第19回	税効果会計の概要、将来減算一時差異	竹村 幸生
第20回	売上原価計上法、分記法、総記法	竹村 幸生
第21回	償却原価法（利息法）、社債の買入償還	竹村 幸生
第22回	原価率・利益率、仕入・売上の計上基準	竹村 幸生
第23回	自己株式の処分・消却、満期保有目的の債券	竹村 幸生
第24回	その他有価証券、有価証券の減損処理	竹村 幸生
第25回	新株予約権、株主資本等変動計算書	竹村 幸生

準備学習等	<p>会計処理の知識や帳簿記入の技術を身につけるためには、日々の復習を欠かさず地道な努力を継続することが何より求められます。項目によっては大変難易度の高い内容も含まれていますので、講義の中で全てが完結するものと考えず、講義後の復習（問題演習）を実施することでより理解が深まることを認識して下さい。なお、予習は不要です。</p>
教科書 参考書等	<p>簿記論計算テキスト1(大原学園)、計算問題集1-1、1-2(大原学園) 簿記論計算テキスト2(大原学園)、計算問題集2-1、2-2(大原学園) 簿記論個別計算問題集（大原出版）、簿記論総合計算問題集基礎編（大原出版）</p>
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。簿記論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	財務諸表論 I	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		4単位	
科目教員		授業回数		25回	
千葉 菜愛		成績評価方法	筆記試験	:	40 %
			ミニテスト	:	40 %
			授業態度	:	20 %
				:	%
科目教員のうち 実務経験教員				:	%
				:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	企業の経済活動を表す損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の作成に関する原理や原則を計算と理論に分けて学習します。計算では日々の取引を集計した残高試算表から、財務諸表を作成する能力を身につけ、理論では企業会計原則を理解し記述することができる力を身につけることを目的とします。また、税理士試験財務諸表論に合格できる能力の基礎を身につけることを到達目標とします。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	計算：ガイダンス 財務諸表論の概要、貸借対照表（株主資本除く）流動固定の分類基準、損益計算書				千葉 菜愛
第2回	計算：現金及び預金、債権及び債務				千葉 菜愛
第3回	計算：個別注記表（重要な会計方針）、B/S注記、損益の見越・繰延 理論：ガイダンス				千葉 菜愛
第4回	計算：銀行勘定調整表 理論：財務諸表論の基礎概念				千葉 菜愛
第5回	計算：棚卸資産（売上原価の算定） 理論：一般原則（真实性の原則）				千葉 菜愛
第6回	計算：有形固定資産、無形固定資産 理論：一般原則（正規の簿記の原則）				千葉 菜愛
第7回	計算：引当金（一般債権）、給料等 理論：一般原則（明瞭性の原則）				千葉 菜愛

第8回	計算：引当金（懸念、破産） 理論：一般原則（継続性の原則）	千葉 菜愛
第9回	計算：退職給付（簡便法） 理論：一般原則（資本利益区別の原則）	千葉 菜愛
第10回	計算：法人税等・追徴還付、株主資本 理論：一般原則（単一性の原則）	千葉 菜愛
第11回	計算：その他の引当金 理論：一般原則（保守主義の原則）	千葉 菜愛
第12回	計算：関係会社（議決権による判定） 理論：重要性の原則	千葉 菜愛
第13回	計算：有価証券（基本的評価等） 理論：P/Lの本質と構造、発生主義会計と現金主義会計	千葉 菜愛
第14回	計算：社債 理論：期間損益計算の基本原則及び収支額基準	千葉 菜愛
第15回	計算：外貨建取引（基本的換算） 理論：実現主義の原則、発生主義の原則	千葉 菜愛
第16回	計算：割引現在価値、資産除去債務 理論：費用収益対応の原則、一般販売の収益認識	千葉 菜愛
第17回	計算：当座借越 理論：特殊販売の収益認識	千葉 菜愛
第18回	計算：関係会社に対する債権債務 理論：工事契約（基本）、P/L表示原則、B/S表示原則	千葉 菜愛
第19回	計算：ソフトウェア、税金（外形基準、租税公課） 理論：財務諸表論の基礎概念（資本循環と財務諸表、会計観）	千葉 菜愛
第20回	計算：税効果会計 理論：貸借対照表の本質	千葉 菜愛
第21回	計算：源泉所得税、社会保険料、棚卸資産（返品、値引、割戻） 理論：資産総論（分類、評価）	千葉 菜愛
第22回	計算：株主資本等変動計算書 理論：棚卸資産（数量計算、評価方法）	千葉 菜愛
第23回	計算：減損会計 理論：固定資産の定義と分類、取得原価（自家建設）	千葉 菜愛
第24回	計算：棚卸資産（他勘定振替） 理論：固定資産の取得原価（現物出資、交換）	千葉 菜愛
第25回	計算：償却原価法（利息法） 理論：固定資産（減価償却、評価減）	千葉 菜愛

<p>準備学習等</p>	<p>財務諸表論については、計算と理論をバランスよく学習していきます。そのため、日々の復習と理論暗記を継続することが必要不可欠です。講義内で指示する問題演習を欠かさず実施することで、より理解が深まるものと解してください。なお、予習は不要です。</p>
<p>教科書 参考書等</p>	<p>財務諸表論計算テキスト1（大原学園）、計算問題集1-1、1-2（大原学園） 理論テキスト1（大原学園） 財務諸表論計算テキスト2（大原学園）、計算問題集2-1、2-2（大原学園） 理論テキスト2（大原学園） 財務諸表論個別計算問題集（大原出版） 財務諸表論総合計算問題集基礎編（大原出版）</p>
<p>備考</p>	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。</p>

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	簿記論演習Ⅰ	授業形態	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
		授業回数	15回
科目教員	竹村 幸生	成績評価方法	筆記試験 : 30 %
			演習問題 : 50 %
			授業態度 : 20 %
			: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	簿記論Ⅰで履修した簿記知識及び計算・記帳技術について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験簿記論受験のための基礎的な個別問題・総合問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、図式化などができるようになることを到達目標とします。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス・第1回演習問題(現金預金、債権債務)	竹村 幸生	
第2回	第2回演習問題(商品売買、固定資産)	竹村 幸生	
第3回	第3回演習問題(貸倒引当金、退職給付会計※簡便法)	竹村 幸生	
第4回	第4回演習問題(有価証券、税金)	竹村 幸生	
第5回	第5回演習問題(社債、純資産)	竹村 幸生	
第6回	第6回演習問題(ソフトウェア、税効果会計)	竹村 幸生	
第7回	第7回演習問題(割引現在価値、減損会計)	竹村 幸生	

第8回	第8回演習問題(転換社債型新株予約権付社債)	竹村 幸生
第9回	第9回演習問題(勘定復元①)	竹村 幸生
第10回	第10回演習問題(勘定復元②)	竹村 幸生
第11回	第11回演習問題(推定簿記①)	竹村 幸生
第12回	第12回演習問題(推定簿記②)	竹村 幸生
第13回	第13回演習問題 (株主資本等変動計算書)	竹村 幸生
第14回	第14回演習問題 (リース会計、減損会計)	竹村 幸生
第15回	第15回演習問題 (資産除去債務、税効果会計)	竹村 幸生
準備学習等	簿記論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。また、個別形式の問題と総合問題は異なる問題です。いずれかの形式に偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。	
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、簿記論Ⅰで使用している計算テキストを持参してください。	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択必修科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	財務諸表論演習Ⅰ	授業形態	
		演習	演習
		選必の別	選必
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	3単位
科目教員	千葉 菜愛	授業回数	15回
		成績評価方法	筆記試験 : 30 %
			演習問題 : 50 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち実務経験教員			
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			
実務経験教員の実務経験内容			
授業目的到達目標	財務諸表論Ⅰで履修した計算及び理論の知識について、問題演習を通して反復練習・解説することで理解を深めてもらうことを目的としています。税理士試験財務諸表論受験のための基礎的な総合計算問題・理論の記述問題を、設定された制限時間内に解答するための解法手順、会計基準の適正な記述などができるようになることを到達目標とします。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 第1回演習問題（理論：一般原則）	千葉 菜愛	
第2回	第2回演習問題（理論：会計観 貸借対照表の役割・損益計算書原則、一）	千葉 菜愛	
第3回	第3回演習問題（理論：損益計算書原則、一A）	千葉 菜愛	
第4回	第4回演習問題（理論：企業会計原則注解、注18引当金について）	千葉 菜愛	
第5回	第5回演習問題（理論：資産の評価について）	千葉 菜愛	
第6回	第6回演習問題（理論：貸借対照表原則、五）	千葉 菜愛	
第7回	第7回演習問題（理論：企業会計原則注解、注15繰延資産）	千葉 菜愛	

第8回	第8回演習問題（理論：会計観・概念フレームワークについて）	千葉 菜愛
第9回	第9回演習問題（理論：資産評価、減損会計）	千葉 菜愛
第10回	第10回演習問題 （理論：リース取引に関する会計基準・資産除去債務に関する会計基準）	千葉 菜愛
第11回	第11回演習問題（理論：リース債務、資産除去債務の共通点、相違点）	千葉 菜愛
第12回	第12回演習問題（理論：退職給付に係る会計基準・純資産会計）	千葉 菜愛
第13回	第13回演習問題（理論：金融商品会計基準）	千葉 菜愛
第14回	第14回演習問題（理論：収益認識基準）	千葉 菜愛
第15回	第15回演習問題（理論：企業結合・事業分離）	千葉 菜愛
準備学習等	財務諸表論Ⅰで履修した内容の問題演習となりますので、事前に各項目の内容を復習したうえで講義に臨んでください。特に、理論については事前暗記が必須です。計算、理論のいずれかに偏った復習にならないよう、バランスよく学習することを心がけてください。	
教科書 参考書等	各回とも演習問題を配付します。 復習用教材として、財務諸表論Ⅰで使用している計算テキスト及び理論テキストを持参してください。	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 財務諸表論演習Ⅰは、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	財務会計上級	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		3単位	
		授業回数		15回	
科目教員	千葉 菜愛	成績 評価 方法	筆記試験	:	50 %
			ミニテスト	:	30 %
			授業態度	:	20 %
				:	%
科目教員のうち 実務経験教員			:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			:	%	
実務経験教員の 実務経験内容			:	%	
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な商業簿記・財務会計を習得し、会計基準や財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、財務諸表作成ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	財務諸表分析、一般原則				千葉 菜愛
第2回	損益計算書原則				千葉 菜愛
第3回	貸借対照表原則				千葉 菜愛
第4回	資産会計、負債会計				千葉 菜愛
第5回	純資産会計				千葉 菜愛
第6回	外貨建取引会計				千葉 菜愛
第7回	税効果会計				千葉 菜愛

第8回	企業結合会計	千葉 菜愛
第9回	連結会計	千葉 菜愛
第10回	キャッシュ・フロー会計	千葉 菜愛
第11回	会計上の変更と誤謬の訂正	千葉 菜愛
第12回	概念フレームワーク	千葉 菜愛
第13回	会社再編の会計①	千葉 菜愛
第14回	会社再編の会計②	千葉 菜愛
第15回	四半期連結財務諸表	千葉 菜愛
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	<p>【商業簿記・会計学】</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅠ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅰ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 テキストⅡ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 問題集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>ALFA 1級商業簿記・会計学 解答集Ⅱ (学校法人 大原学園)</p> <p>全経簿記上級 商業簿記・財務会計テキスト (中央経済社)</p> <p>全経簿記能力検定試験標準問題集 上級商業簿記・財務会計 (中央経済社)</p> <p>簿記検定全経上級 直前対策講義 商業簿記・財務会計 (学校法人 大原学園)</p>	
備考	<p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>財務会計上級は、上記学科の選択必修科目であるため各学科各学年合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p> <p>課題や授業、試験でモノグサを使用する。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	管理会計上級	授業形態		講義	
		選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数		3単位	
		授業回数		15回	
科目教員	菊地 裕俊	成績評価方法	筆記試験		70 %
			平常点		30 %
				%	
科目教員のうち 実務経験教員					%
				%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	会計専門職（税理士・公認会計士等）を目指すものとして高度な原価計算・管理会計を習得し、経営管理や経営分析ができることを目的とする。また、最終的には全国経理教育協会主催簿記能力検定試験上級に合格できる能力を身につけることを目標とする。				
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	費目別計算、個別原価計算、部門別原価計算、責任会計				菊地 裕俊
第2回	部門別原価計算、個別原価計算				菊地 裕俊
第3回	総合原価計算				菊地 裕俊
第4回	標準原価計算				菊地 裕俊
第5回	直接原価計算、全部原価計算、CVP分析、原価分解				菊地 裕俊
第6回	事業部制				菊地 裕俊
第7回	意思決定の原価概念、業務的意思決定				菊地 裕俊

第8回	構造的意決定	菊地 裕俊
第9回	戦略的原価計算	菊地 裕俊
第10回	工場独立会計	菊地 裕俊
第11回	直前対策講義 過去問題解説(第195回、第197回)	菊地 裕俊
第12回	直前対策講義 過去問題解説(第199回、第201回)	菊地 裕俊
第13回	直前対策講義 過去問題解説(第203回、第205回)	菊地 裕俊
第14回	直前対策講義 過去問題解説(第207回、第209回)	菊地 裕俊
第15回	直前対策講義 過去問題解説(第211回、第213回)	菊地 裕俊
準備学習等	各回の復習を必ず行うこと。また、難解な項目もあるため、不明な点は科目教員に質問や相談をすること。予習は不要。	
教科書 参考書等	【工業簿記・原価計算】 ALFA 1級工業簿記・原価計算 テキスト (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 問題集 (学校法人 大原学園) ALFA 1級工業簿記・原価計算 解答集 (学校法人 大原学園) 全経簿記上級 原価計算・管理会計テキスト (中央経済社) 全経簿記能力検定試験標準問題集 上級原価計算・管理会計 (中央経済社) 簿記検定全経上級 直前対策講義 原価計算・管理会計 (学校法人 大原学園) モノグサ (モノグサ株式会社 (e-ラーニング))	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 管理会計上級は、各学科の選択必修科目であるため各学科合同授業となる。 各回、2/3以上の受講で出席とする。 課題や講義でモノグサを使用する。	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	Excel表計算技能	授業形態	
		選必の別	講義
実務経験のある教員による科目の有無	有	単位数	1単位
科目教員	菊地 裕美	授業回数	8回
		成績評価方法	実技試験 : 50 %
			知識試験 : 30 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち 実務経験教員	菊地 裕美		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容	Microsoft Excelによる操作方法		
実務経験教員の 実務経験内容	専門学校講師（外国人留学生含む）		
授業目的 到達目標	PCを用いて簡単なワークシートの作成とデータの入力ができるようにする。 また、タイピングソフトを使い入力速度の向上を図り、ブラインドタッチができるようにする。		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス キーボード入力方法、フォルダ管理、Excelの画面構成、コピー、移動方法の確認	菊地 裕美	
第2回	基本練習1 Shift、Ctrlの使い方	菊地 裕美	
第3回	基本練習2 オートフィル機能の使い方	菊地 裕美	
第4回	基本練習3 行・列の挿入と削除、ウィンドウ枠の固定と解除	菊地 裕美	
第5回	基本練習4 罫線の引き方	菊地 裕美	
第6回	基本練習5 関数1 基本関数	菊地 裕美	
第7回	基本練習6 関数2 ROUND系、RANK、IF、等	菊地 裕美	

第8回	基本練習7 グラフ、並べ替えとフィルター	菊地 裕美
準備学習等	画面構成のプリントを準備し、「タブ」や「リボン」などの単語を覚えるのに役立つようにする。	
教科書 参考書等	オリジナルテキストとデータを使用	
備考	<p>初回のみ4時間講義とする。</p> <p>PCの環境を整え、スムーズに授業が行えるようにする。</p> <p>授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>Excel表計算技能は、各学科の選択科目であるため、各学科合同授業となる。</p> <p>各回、2/3以上の受講で出席とする。</p>	

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	簿記速修	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	4単位
科目教員		授業回数	25回
科目教員のうち 実務経験教員		成績 評価 方法	筆記試験 : 70 %
			平常点 : 30 %
実務経験教員の実務経験に関する授業内容			: %
実務経験教員の実務経験内容			: %
授業目的 到達目標		簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、経理事務に活用できることを目的とし、日本商工会議所主催簿記検定試験3級に合格する能力を身につけることを到達目標とする。	
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス 簿記概論	菊地 裕俊	
第2回	基礎概念（資産、負債、純資産、収益、費用）	菊地 裕俊	
第3回	取引の意義と種類、勘定の意義と分類	菊地 裕俊	
第4回	仕訳帳と総勘定元帳、補助簿	菊地 裕俊	
第5回	証ひょうと伝票	菊地 裕俊	
第6回	期中取引の処理（現金預金）	菊地 裕俊	
第7回	期中取引の処理（売掛金と買掛金）	菊地 裕俊	

第8回	期中取引の処理（その他の債権）	菊地 裕俊
第9回	期中取引の処理（その他の債務）	菊地 裕俊
第10回	期中取引の処理（手形）	菊地 裕俊
第11回	期中取引の処理（商品）	菊地 裕俊
第12回	期中取引の処理（固定資産）	菊地 裕俊
第13回	期中取引の処理（純資産）	菊地 裕俊
第14回	期中取引の処理（収益と費用）	菊地 裕俊
第15回	期中取引の処理（税金）	菊地 裕俊
第16回	月次の集計（合計試算表）	菊地 裕俊
第17回	月次の集計（残高試算表）	菊地 裕俊
第18回	月次の集計（合計残高試算表）	菊地 裕俊
第19回	月次の集計（損益計算書）	菊地 裕俊
第20回	月次の集計（貸借対照表）	菊地 裕俊
第21回	問題実施、解説 項目別対策①（仕訳）	菊地 裕俊
第22回	問題実施、解説 項目別対策②（試算表の作成）	菊地 裕俊
第23回	問題実施、解説 項目別対策③（決算手続きにおける財務諸表等）	菊地 裕俊
第24回	問題実施、解説 項目別対策④（勘定記入）	菊地 裕俊
第25回	問題実施、解説 項目別対策⑤（伝票・証ひょう）	菊地 裕俊

準備学習等	日々の復習をしっかりと行い、不明な点は科目教員に質問し、次回の授業に備えること。
教科書 参考書等	ALFA 3級商業簿記 テキスト（学校法人 大原学園） ALFA 3級商業簿記 問題集（学校法人 大原学園） ALFA 3級商業簿記 解答集（学校法人 大原学園） ステップアップ問題集 日商簿記3級商業簿記（大原出版） 日商3級 過去問分析より徹底予想！ 試験によく出る問題集（大原出版） ESSENTIAL 項目別答練問題集（学校法人 大原学園） ESSENTIAL 項目別答練解答集（学校法人 大原学園）
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 簿記速修は各学科の選択科目であるため、各学科合同で授業を行う。 各回、2/3以上の受講で出席とする。

学科	情報ビジネス学科（3年課程）
学年	1 学年

科目名	F P 技能士 3 級	授業形態	講義
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	2単位
科目教員	千葉 菜愛	授業回数	13回
		成績評価方法	筆記試験 : 40 %
			ミニテスト : 40 %
			授業態度 : 20 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	<p>ファイナンシャルプランナー（FP）はお金の専門家です。これからの時代、社会人となって必要不可欠となるのが今後の「人生設計」とそれに伴う「お金」の知識です。FP資格は年金・保険・税金といった生活を豊かにする知識の他、株式や預貯金などの金融資産、不動産、相続といったお金に関する幅広い分野を学習することができます。学習を通して基本的なライフプランニングができる知識の習得を目的とし、国家試験であるFP技能士3級検定試験の学科試験と実技試験の両方に合格することのできる能力を身につけることを到達目標とします。</p>		
授業計画			
回数	授業内容	科目教員	
第1回	ガイダンス ライフプランニングと資金計画（FPとライフプランニング、教育・住宅取得資金計画、社会保険）	千葉 菜愛	
第2回	ライフプランニングと資金計画（公的年金制度の概要、老後の生活資金設計と公的年金、公的年金における障害給付・遺族給付）	千葉 菜愛	
第3回	ライフプランニングと資金計画（企業年金・自営業者のための年金、ライフプランニングの考え方）	千葉 菜愛	
第4回	リスク管理（リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の概略、生命保険商品の種類と内容）	千葉 菜愛	
第5回	リスク管理（損害保険の概略、損害保険商品の種類と内容、個人・法人の契約に関する税金、第三分野の保険・共済）	千葉 菜愛	
第6回	金融資産運用（マーケット環境の理解、預貯金等、債券、株式）	千葉 菜愛	

第7回	金融資産運用（投資信託、外貨建て商品、金融派生商品）	千葉 菜愛
第8回	金融資産運用（ポートフォリオ理論、金融商品と税金、セーフティネット、関連法規）	千葉 菜愛
第9回	タックスプランニング（税金の分類と計算体系、所得税の仕組み、各種所得の内容）	千葉 菜愛
第10回	タックスプランニング（課税標準に計算、所得控除、税額控除）	千葉 菜愛
第11回	タックスプランニング（確定申告、個人住民税と個人事業税）	千葉 菜愛
第12回	不動産（不動産の見方、不動産の取引、不動産に関する法令上の制限、不動産に係る税金、不動産の有効活用）	千葉 菜愛
第13回	相続・事業承継（相続と法律、贈与と法律、贈与と税金、相続と税金、財産の評価（不動産・金融資産）、相続対策）	千葉 菜愛
準備学習等	予習の必要はありません。経済（社会）や法律を学ぶことになるため、不明な点は教員に質問をして、次回の講義に備えてください。	
教科書 参考書等	ファイナンシャル・プランナー3級 テキスト（大原出版） ファイナンシャル・プランナー3級 問題集（大原出版）	
備考	各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 FP技能士3級は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。	

学科		情報ビジネス学科 (3年課程)	
学年		1 学年	
科目名	F P 技能士 3 級演習	授業形態	演習
		選必の別	選択
実務経験のある教員による科目の有無		単位数	1単位
		授業回数	5回
科目教員	千葉 菜愛	成績評価方法	筆記試験 : 70 %
			授業態度 : 30 %
科目教員のうち 実務経験教員			: %
			: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			
実務経験教員の 実務経験内容			
授業目的 到達目標	ファイナンシャルプランナーとして必要な年金、保険、金融資産、税金、不動産、相続などの知識を、過去試験問題や模擬問題を通して答案練習・解説することで、理解を深めてもらうことを目的としています。FP技能士3級受験のため学科及び実技問題を、本試験通りの時間設定の中で解答し、常に合格点数以上を取ることを達成目標とします。		
授業計画			
回数	授業内容		科目教員
第1回	ガイダンス／過去試験対策①		千葉 菜愛
第2回	過去試験対策②		千葉 菜愛
第3回	過去試験対策③		千葉 菜愛
第4回	模擬試験①		千葉 菜愛
第5回	模擬試験②		千葉 菜愛

準備学習等	<p>反復の答案練習が必要となります。間違った問題の書き直しに全力を注いでください。 また、学科試験、実技試験をバランスよく学習することを心がけてください。</p>	
教科書 参考書等	<p>ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集 問題編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランナー3級 学科・実技過去試験問題集 解答編（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級 学科模擬試験（学校法人 大原学園） ファイナンシャル・プランニング技能検定3級 実技模擬試験（学校法人 大原学園） 復習用教材として、FP技能士3級で使用しているテキストを持参してください。</p>	
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。 F P 技能士 3 級演習は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。</p>	

学科		情報ビジネス学科（3年課程）			
学年		1 学年			
科目名	コンピュータ会計		授業形態	演習	
			選必の別	選択	
実務経験のある教員による科目の有無					
		単位数	2単位		
科目教員	竹村 幸生		授業回数	10回	
			成績評価方法	筆記試験	: 50 %
				授業態度	: 50 %
					: %
科目教員のうち実務経験教員				: %	
				: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標	簿記に関連した科目を履修したものが、その知識を実務でも活用できるよう会計ソフト(弥生会計)を使用し実習することで、簿記の知識(いわゆる受験簿記の知識)と会計ソフトを利用した場合の簿記とのつながり、相違点を理解してもらうことを目的としています。自ら会計ソフトを利用して基礎的な会計処理(入力・集計等)ができるようになること、コンピュータ会計能力検定2級を取得するための知識と技能を身につけることを到達目標とします。				
授業計画					
回数	授業内容		科目教員		
第1回	ガイダンス及び会計ソフトの操作		竹村 幸生		
第2回	企業の基幹業務と会計処理		竹村 幸生		
第3回	税金に関連する業務と会計処理		竹村 幸生		
第4回	会計データ（証憑による）の入力処理と集計		竹村 幸生		
第5回	決算に関連する業務と会計処理		竹村 幸生		
第6回	予算管理と経営分析指標		竹村 幸生		
第7回	収益構造分析と短期利益計画		竹村 幸生		

第8回	キャッシュ・フロー分析	竹村 幸生
第9回	過去問演習①	竹村 幸生
第10回	過去問演習②	竹村 幸生
準備学習等	<p>パソコンを利用した会計処理の実習が中心となります。序盤は慣れない作業に苦労することになりますが、繰り返し実習を積むことでその技術(入力の速度・精度)は上達します。空き時間等を利用し、積極的にパソコン教室での練習を心がけてください。なお、予習は不要です。</p>	
教科書 参考書等	<p>コンピュータ会計応用テキスト (実教出版) コンピュータ会計応用問題集 (実教出版) コンピュータ会計能力検定試験 過去問題集 (公益社団法人 全国経理教育協会)</p>	
備考	<p>各回の授業計画等の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合があります。</p> <p>コンピュータ会計は、上記学科及び各学年の選択科目であるため、各学科及び各学年合同授業となります。</p>	